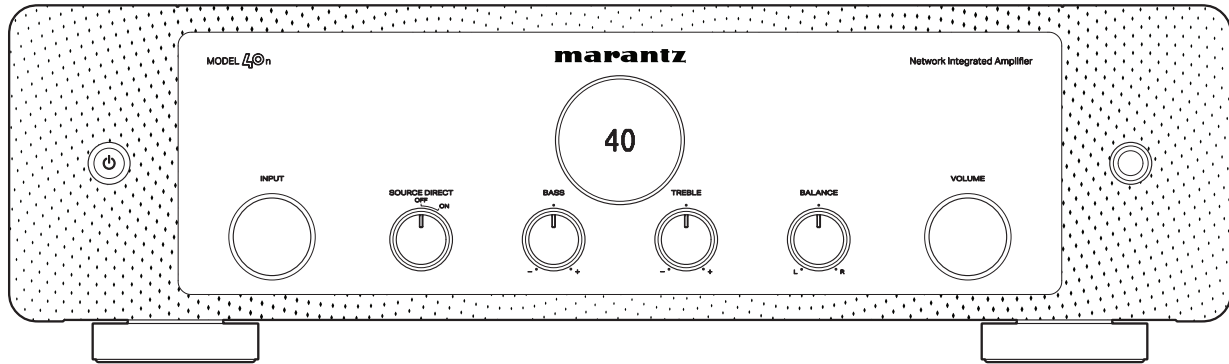


marantz®



MODEL 40 | Network Integrated Amplifier

取扱説明書

目次

使用上のご注意	6	接続のしかた	
携帯電話使用時のご注意	6	スピーカーを接続する	21
お手入れについて	6	スピーカーケーブルを接続する	21
結露(つゆつき)について	6	サブウーハーを接続する	22
付属品	7	スピーカーを接続する	23
乾電池の入れかた	8	再生機器を接続する	24
リモコンの使いかた	8	録音機器を接続する	25
各部の名前	9	デジタル音声端子付きの機器を接続する	26
フロントパネル	9	USB 端子に USB メモリーを接続する	28
リアパネル	12	ホームネットワーク(LAN)に接続する	29
リモコン	15	有線 LAN	29
		無線 LAN	30
		プリアンプを接続する	31
		リモートコントロール端子付きの機器を接続する	32
		Marantz 製オーディオ機器をリモート接続する	32
		電源コードを接続する	33

再生のしかた

基本操作	35
電源を入れる	35
電源をスタンバイにする	35
入力ソースを選ぶ	36
音量を調節する	36
一時的に音を消す(ミュート)	36
CDを再生する	37
Bluetooth機器の音楽を聴く	38
Bluetooth機器の音楽を聴く	39
2台目以降のBluetooth機器とペアリングする	40
Bluetooth機器から本機に再接続する	40
デジタル入力を再生する	41
HEOSアプリをダウンロードする	43
HEOSアプリに初めてHEOS機能搭載機器をセットアップする	44
HEOSアプリにHEOS機能搭載機器の登録を追加する	45
HEOSアカウント	46
ストリーミング音楽サービスを再生する	47
同じ音楽を複数の部屋で聴く	50

インターネットラジオを聴く	54
モバイル機器に保存されている音楽を再生する	54
パソコンやNASに保存されているファイルを再生する	55
USBメモリーに保存されているファイルを再生する	55
AirPlay機能	57
iPhone、iPod touch、iPadの曲を本機で再生する	58
iTunesの曲を本機で再生する	58
iPhone、iPod touch、iPadの曲を複数の機器で同期して再生する(AirPlay 2)	59
Spotify Connect機能	60
Spotifyの曲を本機で再生する	60
便利な機能	61
音質および音量バランスを調節する	61
ソースダイレクトモードで再生する	61
ディスプレイの明るさを切り替える	62
スリープタイマーを設定する	62
録音する	63
本機をパワーアンプとして使用する	63

設定のしかた

設定メニュー 一覧	64
設定メニューの操作のしかた	66
Audio	67
Digital Filter	67
Lock Range	67
Volume Limit	68
Low Pass Filter	68
TV	69
TV Input	69
Auto-Play	69
HDMI Power Off Control	69
General	70
Lighting	70
Auto-Standby	70
Reset	71
Network	72
Network & USB-A	72
Wi-Fi	72
Bluetooth	72
Network Control	73
iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有して接続する	74
ルーターの WPS ボタンを使って接続する	75

困ったときは

こんなときの解決方法	77
故障かな?と思ったら	79
電源が入らない / 電源が切れる	80
リモコンで操作ができない	82
本機のディスプレイが表示されない	82
音がまったく出ない	83
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	84
希望する音が出ない	86
AirPlay 再生ができない	87
USB メモリーが再生できない	88
Bluetooth が再生できない	89
インターネットラジオが再生できない	90
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない (ミュージックサーバー)	91
各種オンラインサービスが再生できない	92
無線 LAN ネットワークに接続できない	92
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC/ Coaxial/Optical)	94
入力ソースが“HDMI ARC”、“Optical”または “Coaxial”に切り替わる	94
HDMI コントロール機能がはたらかない	94
アップデート/アップグレードエラーメッセージ	95
お買い上げ時のファームウェアに復元する	96
保証と修理について	97

付録

USB メモリーの再生について	99
D/A コンバーターについて	100
Bluetooth 機器の再生について	101
パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について	102
インターネットラジオの再生について	103
ラストファンクションメモリー	103
HDMI について	104
用語の解説	105
登録商標について	109
主な仕様	110
索引	114

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1~2 時間放置してから使用してください。

ステレオ音のエチケット



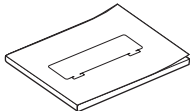
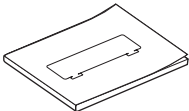
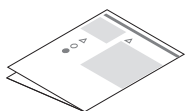
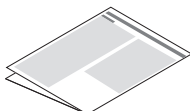

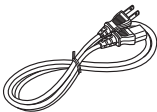
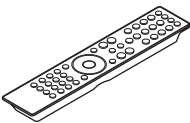

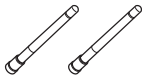
音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

ご使用前にご確認ください。

 かんたんスタートガイド	 取扱説明書(本書)	 安全にお使いいただくために	 電波に関するご注意
 保証書	 電源コード 【本機専用】	 リモコン (RC005PM)	 単4形乾電池(2本)
 Bluetooth/無線LAN 用 外部アンテナ(2本)			

目次

接続のしかた

再生のしかた

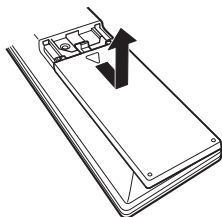
設定のしかた

困ったときは

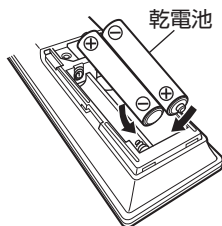
付録

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。



- 2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



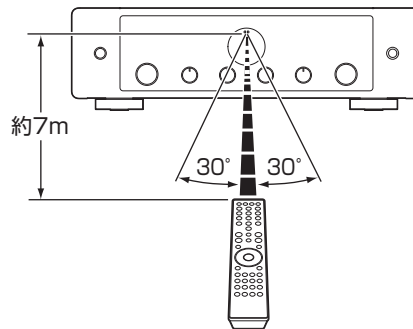
- 3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
- 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

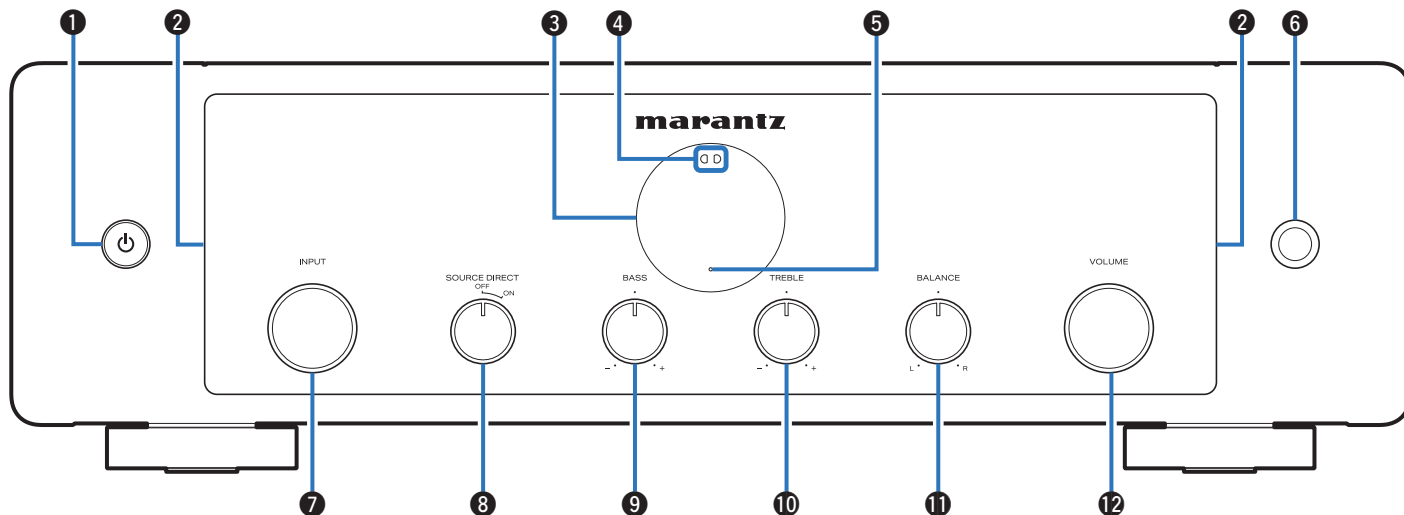
リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



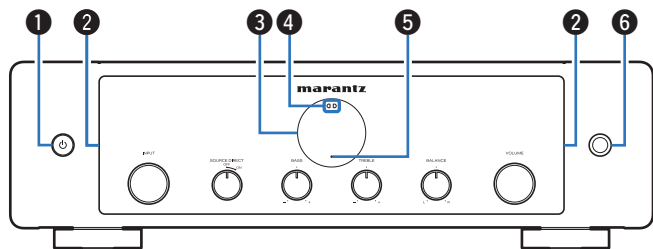
各部の名前

フロントパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録



① 電源ボタン(⏻)

電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.35 ページ)

② ライティング LED

電源をオンにすると点灯します。明るさを調節したり消灯したりできます。(P.70 ページ)

③ ディスプレイ

各種情報を表示します。

④ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(P.8 ページ)

⑤ 保護回路動作表示

保護回路がはたらいているときに点滅します。(P.108 ページ)

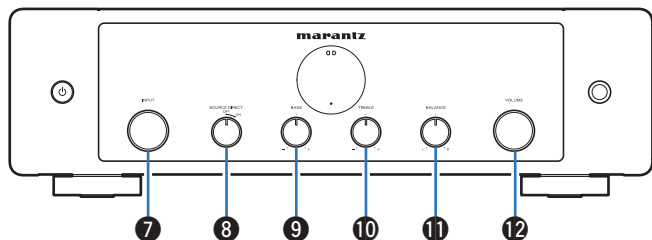
⑥ ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーおよびプリアウト端子から音が出なくなります。

ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。



⑦ 入力ソース選択つまみ (INPUT)

入力ソースを切り替えます。(☞36 ページ)

⑧ ソースダイレクト切り替えつまみ (SOURCE DIRECT)

ソースダイレクトモードのオン/オフを切り替えます。(☞61 ページ)

⑨ 低音調節つまみ (BASS)

低音の音量を調節します。(☞61 ページ)

⑩ 高音調節つまみ (TREBLE)

高音の音量を調節します。(☞61 ページ)

⑪ バランス調節つまみ (BALANCE)

左右のスピーカーから出力する音量のバランスを調節します。(☞61 ページ)

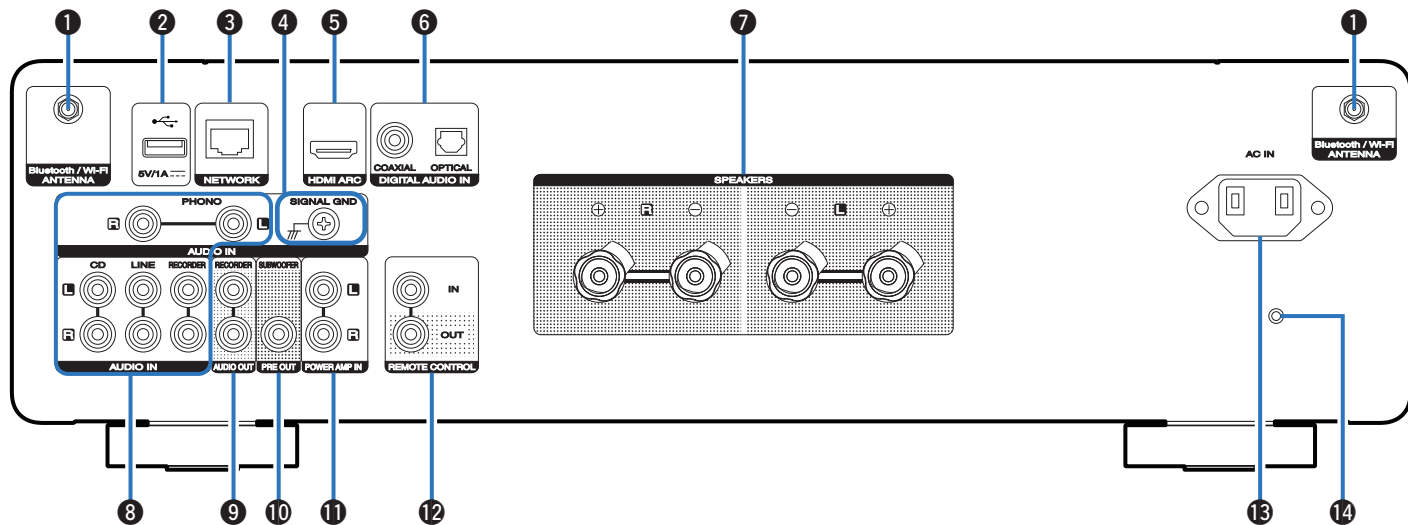
⑫ 音量調節つまみ (VOLUME)

音量を調節します。(☞36 ページ)

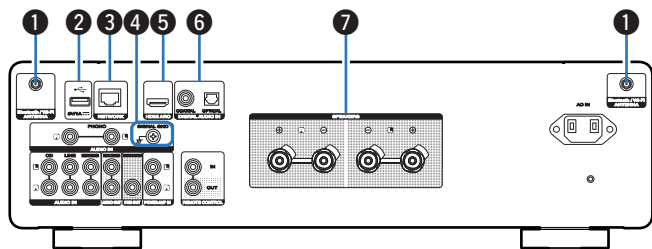


- ⑨、⑩ および ⑪ は ⑧ がオフ(ソースダイレクトモードがオフ)のときに調節できます。(☞61 ページ)

リアパネル



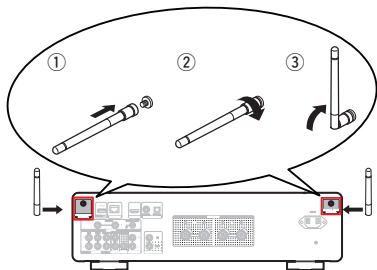
詳しくは、次のページをご覧ください。



① Bluetooth/無線 LAN 用アンテナ端子

Bluetooth でお手持ちの機器と接続する場合、または無線 LAN でネットワークに接続する場合は、この端子に付属の Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナを接続してご使用ください。(☞ 30 ページ)

- ① Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルのアンテナ端子と水平に合わせる。
- ② アンテナを右に回してしっかり締める。
- ③ 最も受信状態が良い向きにアンテナを回転させる。



② USB 端子(☞)

USB ストレージ (USB メモリーなど) を接続します。
(☞ 28 ページ)

③ ネットワーク端子(NETWORK)

有線 LAN でネットワークに接続する際に LAN ケーブルを接続します。(☞ 29 ページ)

④ アース端子(SIGNAL GND)

レコードプレーヤーのアース線を接続します。
(☞ 24 ページ)

⑤ HDMI 端子 (HDMI ARC)

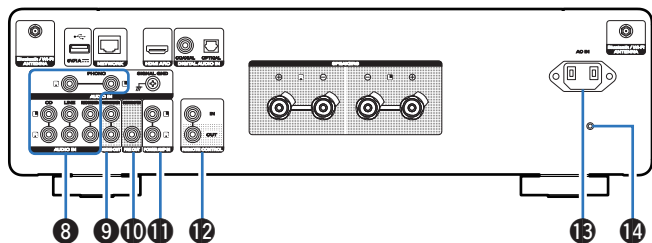
ARC 機能対応のテレビを接続します。(☞ 26 ページ)

⑥ デジタル音声入力端子(DIGITAL AUDIO IN)

デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。(☞ 26 ページ)

⑦ スピーカー端子(SPEAKERS)

スピーカーを接続します。(☞ 21 ページ)



⑧ アナログ音声入力端子(AUDIO IN)

アナログオーディオ端子付きの機器を接続します。

- 「再生機器を接続する」(P.24 ページ)
- 「録音機器を接続する」(P.25 ページ)

⑨ アナログ音声出力端子(AUDIO OUT)

録音機器の入力端子を接続します。(P.25 ページ)

⑩ プリアウト端子(PRE OUT)

アンプ内蔵のサブウーハーを接続します。(P.22 ページ)

⑪ パワーアンプ入力端子(POWER AMP IN)

本機をパワーアンプとしてご使用になる場合に、プリアンプを接続します。(P.31 ページ)

⑫ リモートコントロール端子(REMOTE CONTROL)

リモートコントロール機能に対応している Marantz 製オーディオ機器を接続します。(P.32 ページ)

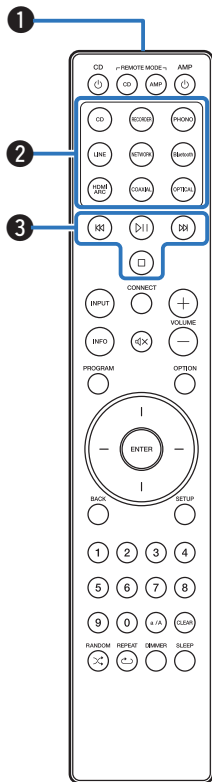
⑬ AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(P.33 ページ)

⑭ ファームウェアリセットボタン

お買い上げ時のファームウェアに復元します。(P.96 ページ)

リモコン



付属のリモコンは本機だけでなく、Marantz 製 CD プレーヤーも操作できます。

- 「CD プレーヤーの操作」(P18 ページ)

■ 本機の操作

本機を操作するときは、REMOTE MODE AMP を押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えてください。

① リモコン信号送信窓

リモコンの信号を送信します。(P8 ページ)

② 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。(P36 ページ)

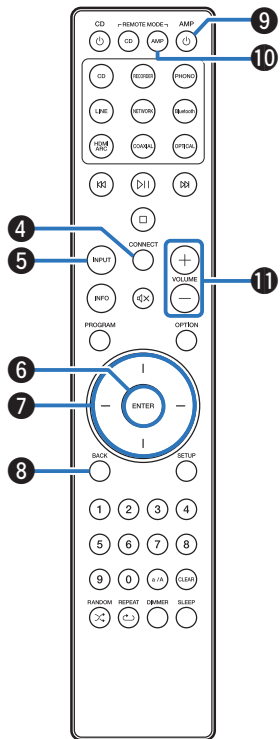
③ システムボタン

再生に関する操作をします。

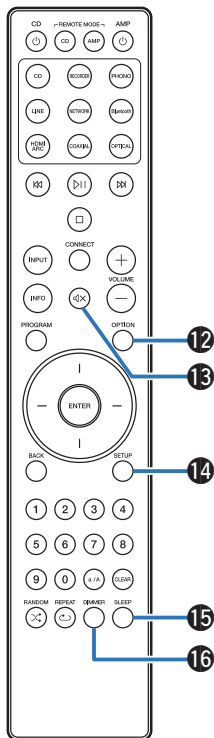
- プレイ/ポーズボタン (▶||)
- 再生中にボタンを押すと、一時停止します。また、一時停止中および停止中にボタンを押すと、最後に再生した音楽の再生を再開します。
- スキップボタン (⏮)
- 再生中にボタンを押すと、次の曲を再生します。
- スキップボタン (⏭)
- 再生中にボタンを押すと、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。
- ストップボタン (⏹)
- 再生中にボタンを押すと、停止します。



- 入力ソースやオンラインサービスによっては、操作できません。



- ④ **無線 LAN 接続ボタン(CONNECT)**
無線 LAN のセットアップ時に使用します。(P.75 ページ)
- ⑤ **入力ソース切り替えボタン(INPUT)**
入力ソースを切り替えます。(P.36 ページ)
- ⑥ **エンターボタン(ENTER)**
選択した内容を確定します。
- ⑦ **カーソルボタン**
項目を選択します。
- ⑧ **バックボタン(BACK)**
ひとつ前の項目に戻ります。
- ⑨ **電源ボタン(AMP ㊦)**
電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(P.35 ページ)
- ⑩ **リモートモード切り替えボタン (REMOTE MODE AMP)**
リモコンの操作モードを本機に切り替えます。
- ⑪ **音量調節ボタン(VOLUME + -)**
音量を調節します。(P.36 ページ)



12 オプションボタン(OPTION)

オプションメニューをディスプレイに表示します。



- 入力ソースによっては、オプションメニューを表示しません。

13 ミュートボタン(MUTE)

消音します。(P.36 ページ)

14 セットアップボタン(SETUP)

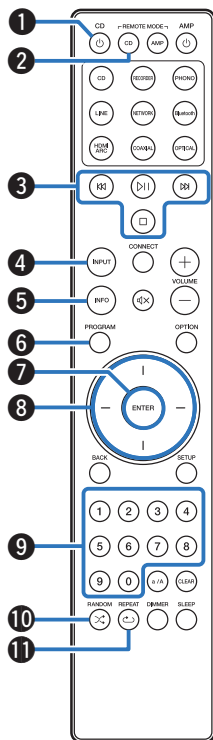
ディスプレイに設定メニューを表示します。(P.66 ページ)

15 スリープタイマーボタン(SLEEP)

スリープタイマーを設定します。(P.62 ページ)

16 ディマーボタン(DIMMER)

本機のディスプレイの明るさを調節します。(P.62 ページ)

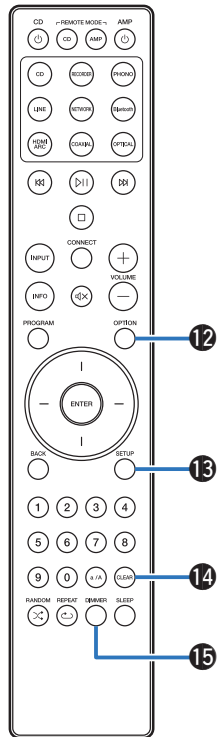


■ CD プレーヤーの操作

Marantz 製 CD プレーヤーを操作できます。

CD プレーヤーを操作するときは、リモートモード切り替えボタン(REMOTE MODE CD)を押して、リモコンを CD プレーヤーの操作モードに切り替えます。

- ① 電源ボタン(CD ㊦)
- ② リモートモード切り替えボタン (REMOTE MODE CD)
- ③ システムボタン
- ④ 入力ソース切り替えボタン(INPUT)
- ⑤ インフォメーションボタン(INFO)
- ⑥ プログラムボタン(PROGRAM)
- ⑦ エンターボタン(ENTER)
- ⑧ カーソルボタン
- ⑨ 数字ボタン(0~9)
- ⑩ ランダムボタン(RANDOM ㄨ)
- ⑪ リピートボタン(REPEAT ㄨ)



⑫ オプションボタン(OPTION(MODE))

⑬ セットアップボタン(SETUP)

⑭ クリアボタン(CLEAR)

⑮ ディマーボタン(DIMMER)



• 一部操作ができない製品もあります。

接続のしかた

■ 目次









スピーカーを接続する	21
再生機器を接続する	24
録音機器を接続する	25
デジタル音声端子付きの機器を接続する	26
USB 端子に USB メモリーを接続する	28
ホームネットワーク(LAN)に接続する	29
プリアンプを接続する	31
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	32
電源コードを接続する	33

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

スピーカーケーブル	
サブウーハーケーブル	
HDMI ケーブル	
光伝送ケーブル	
同軸デジタルケーブル	
オーディオケーブル	
LAN ケーブル	
リモートコントロール接続ケーブル	

スピーカーを接続する

で注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。「保護回路」(P.108 ページ)
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが 4~16Ω のものを使用してください。

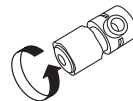
スピーカーケーブルを接続する

本機と接続するスピーカーの左チャンネル(L)、右チャンネル(R)、+ (赤)、- (白)をよく確認して、同じ極性を接続してください。

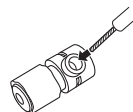
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじるか、端末処理をおこなう。



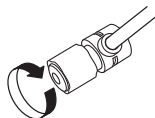
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の穴に差し込む。



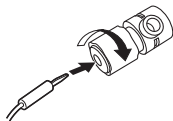
4 スピーカー端子を右に回して締める。



Y ラグ端子

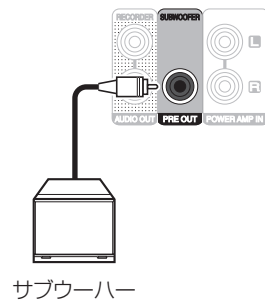


バナナプラグの場合

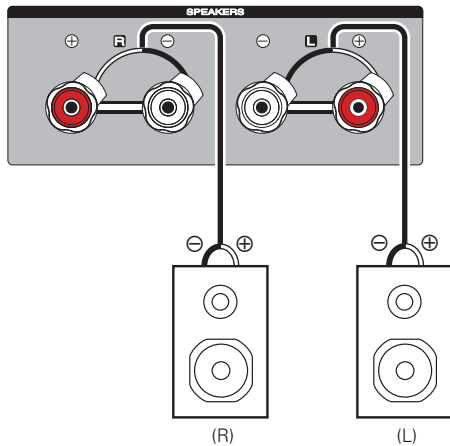


サブウーハーを接続する

サブウーハーケーブルを使用して、サブウーハーと接続します。



スピーカーを接続する



目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

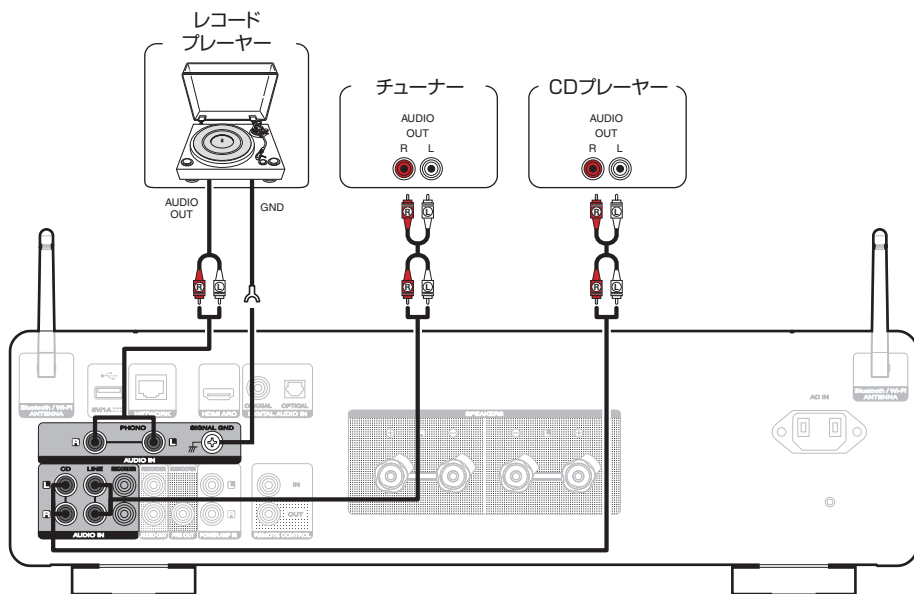
付録

再生機器を接続する

本機には、レコードプレーヤー、チューナーおよび CD プレーヤーを接続できます。

本機は、MM カートリッジ付きのレコードプレーヤーに対応しています。MC カートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続する場合は、別売りの MC ヘッドアンプまたは昇圧トランスを使用してください。

本機の入力ソースを“PHONO”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音が発生することがあります。



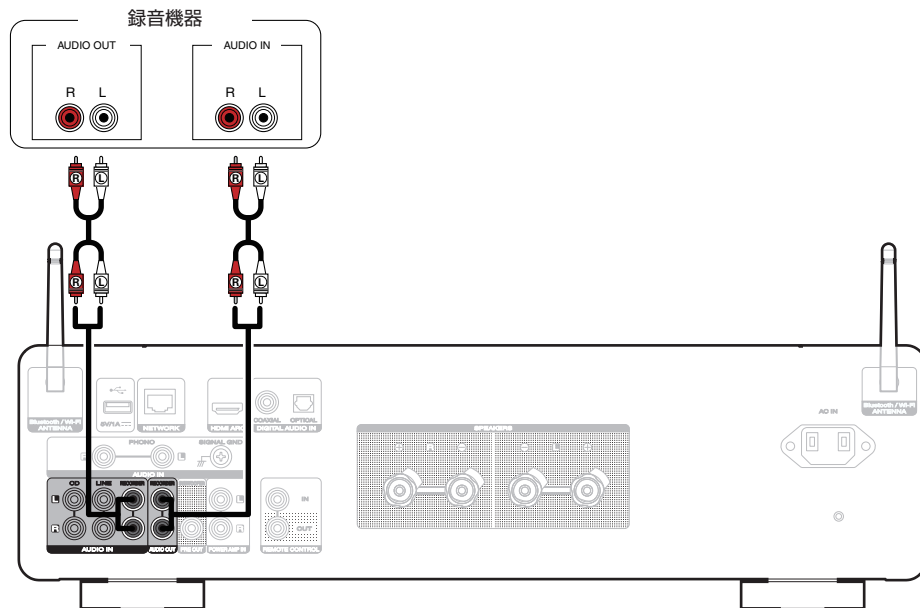
ご注意

- 本機のアース端子(SIGNAL GND)は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できます。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。



- PHONO 入力端子にはショートピンプラグが付属しています。レコードプレーヤーを接続する際は外してください。外したショートピンプラグは大切に保管してください。

録音機器を接続する

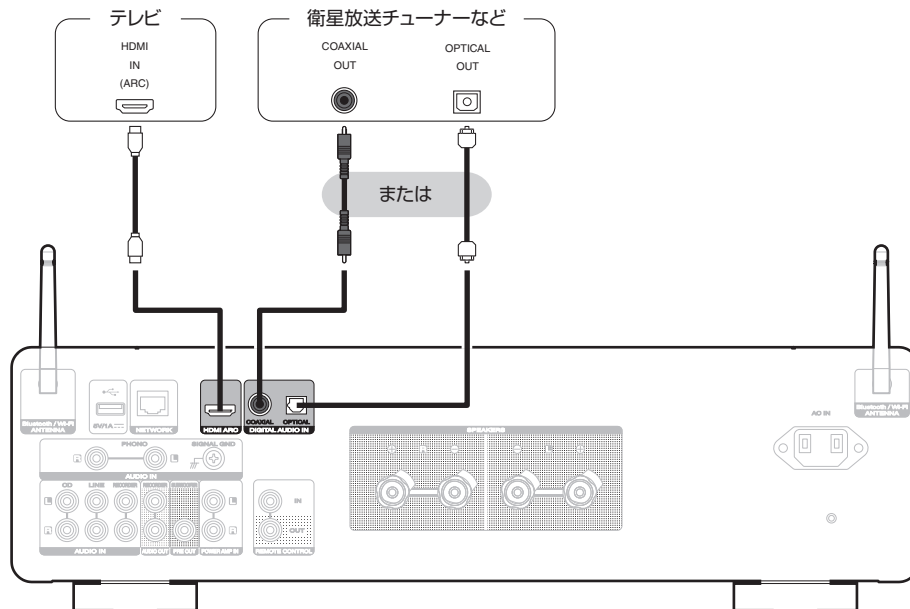


ご注意

- アナログ音声出力端子(AUDIO OUT RECORDER)にショートピンプラグを挿入しないでください。故障の原因になります。

デジタル音声端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力すると、本機の D/A コンバーターで D/A 変換をおこなって再生できます。(P.41 ページ)





- 本機にテレビを接続してお使いの場合、テレビに内蔵されたスピーカーの音声出力をオフに設定してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の HDMI ARC 端子に TV を接続する場合、ARC 機能に対応した TV の HDMI 入力端子に接続してください。
- ARC 機能に非対応の TV や、HDMI 端子が無いテレビと接続する場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続でも TV の音声を本機で再生できません。

ご注意

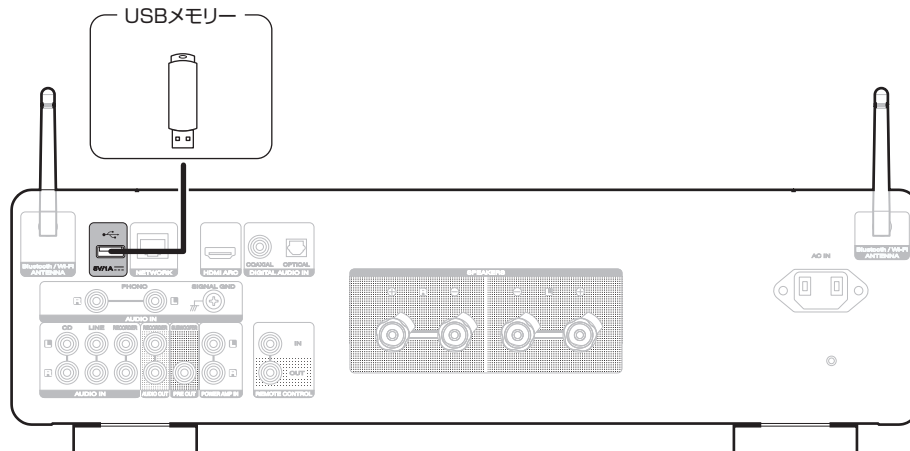
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 信号以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する恐れがあります。
- HDMI ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。

■ 再生できる音声信号の仕様

「D/A コンバーターについて」(P.100 ページ)をご覧ください。

USB 端子に USB メモリーを接続する

操作のしかたは、「USB メモリーに保存されているファイルを再生する」(P.55 ページ)をご覧ください。



- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときは、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。


ホームネットワーク(LAN)に接続する

本機は有線 LAN または無線 LAN を使用して、ネットワークに接続できます。

本機はホームネットワーク(LAN)に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

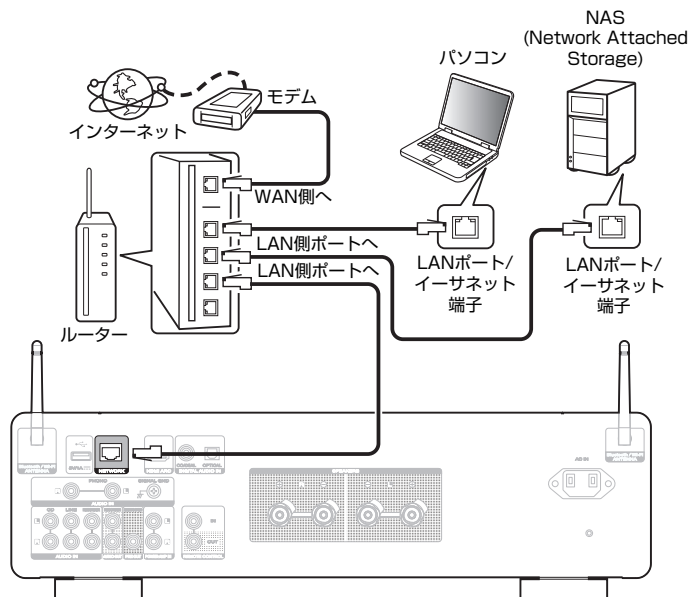
- インターネットラジオやメディアサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- ストリーミング音楽サービスの再生
- AirPlay 再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- HEOS 無線マルチルームサウンドシステムでの動作
- ファームウェアのアップデート

インターネットの接続については、ISP(Internet Service Provider)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。

- ✎ 本機のディスプレイに  が表示されている場合、本機はネットワークに接続していません。

有線LAN

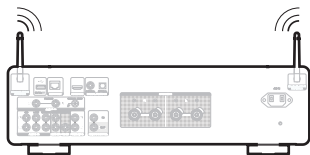
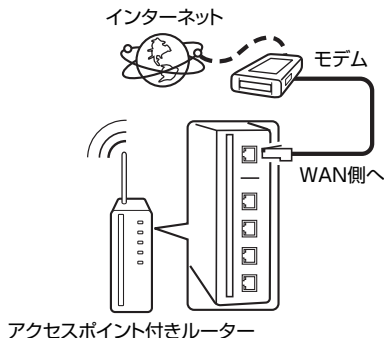
有線 LAN で接続する場合は、図のようにルーターと本機を LAN ケーブルで接続してください。



無線 LAN

無線 LAN でネットワークに接続する場合は、Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナをリアパネルに接続し、アンテナを立ててご使用ください。

無線 LAN ルーターに接続するには、HEOS アプリをお手持ちのモバイル端末にダウンロードして、本機のセットアップをおこなってください。(P.43 ページ)



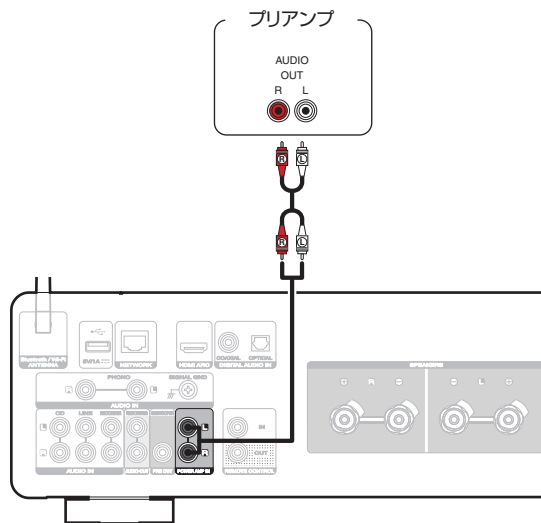
- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルーターをおすすめします。
 - DHCP サーバー内蔵
LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
 - 100BASE-TX スイッチ内蔵
複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルを使用してください。(CAT-5 以上を推奨)
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。

ご注意

- ISP 業者によって使用できるルーターの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルーターが必要です。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルーター等に LAN 接続してください。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- 各種オンラインサービスは、予告なく終了する場合があります。

プリアンプを接続する

プリアンプを接続して、本機をパワーアンプとして使うことができます。



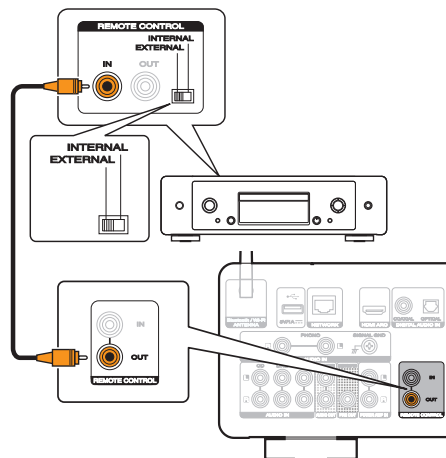
- プリアンプを接続して本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、入力ソースを“PWR AMP”に切り替えてください。(P.63 ページ)

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

Marantz 製オーディオ機器をリモート接続する

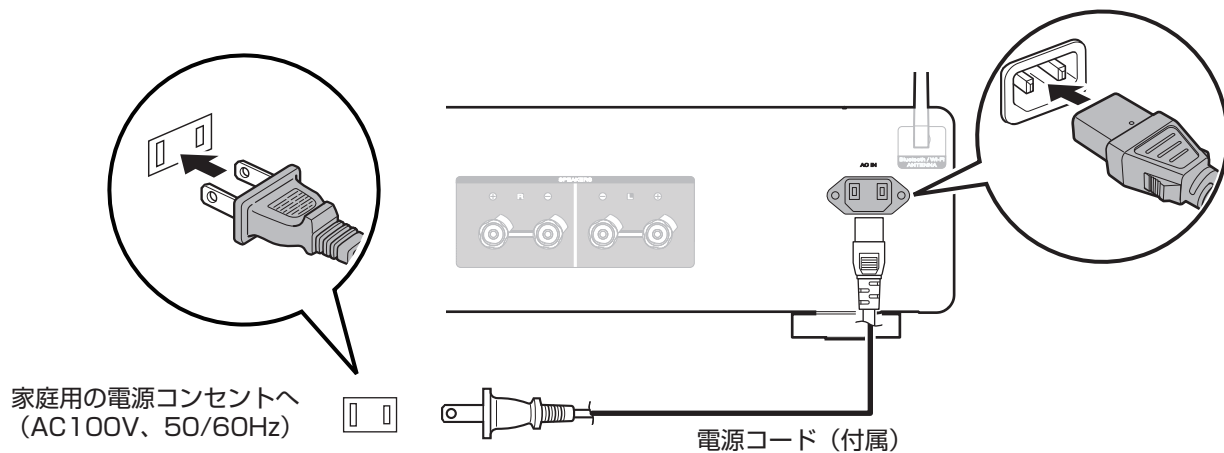
Marantz 製オーディオ機器に付属しているリモート接続ケーブルを使用して REMOTE CONTROL IN/OUT 端子に機器を接続するだけでリモコン信号を転送できます。

この接続をおこなう場合は、本機と接続する機器の背面に装備されているリモートコントロールスイッチを“EXTERNAL”に設定してください。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

基本操作

電源を入れる	35
電源をスタンバイにする	35
入力ソースを選ぶ	36
音量を調節する	36
一時的に音を消す(ミュート)	36

ネットワークオーディオ/サービスを再生する

HEOS アプリをダウンロードする	43
インターネットラジオを聴く	54
モバイル機器に保存されている音楽を再生する	54
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	55
USB メモリーに保存されているファイルを再生する	55
AirPlay 機能	57
Spotify Connect 機能	60

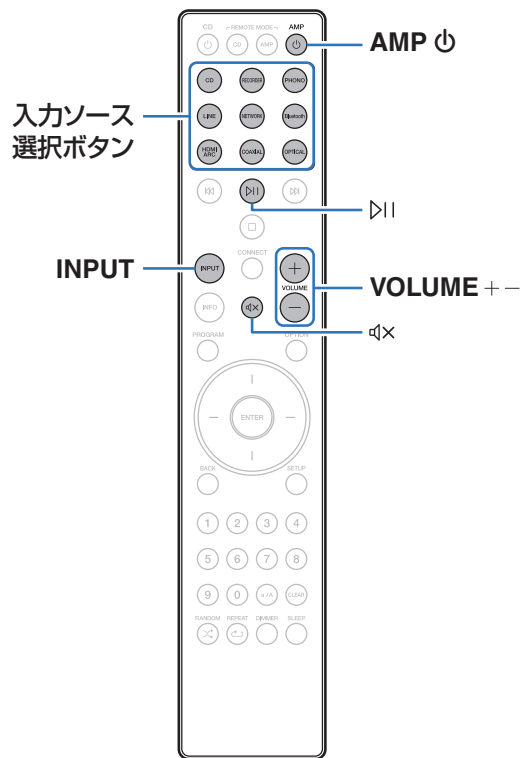
機器を再生する

CD を再生する	37
Bluetooth 機器の音楽を聴く	38
デジタル入力を再生する	41

便利な機能

音質および音量バランスを調節する	61
ソースダイレクトモードで再生する	61
ディスプレイの明るさを切り替える	62
スリープタイマーを設定する	62
録音する	63
本機をパワーアンプとして使用する	63

基本操作



電源を入れる

1 AMP 電源ボタンを押して、電源を入れる。



- 本体の電源ボタンを押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができません。
- PAUSE ボタンを押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。

電源をスタンバイにする

1 AMP 電源ボタンを押す。

スタンバイ状態になります。



- 本体の電源ボタンを押しても、スタンバイ状態にすることができます。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

- 1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。
ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。



- INPUT を押しても、入力ソースを選択できます。
- 本体の INPUT を回しても、入力ソースを選択できます。
- NETWORK ボタンを押すと、前回ネットワーク再生した入力ソースに切り替わります。前回ネットワーク再生した入力ソースにアクセスできない場合、“HEOS Music”をディスプレイに表示します。
- ネットワーク機能を使ったストリーミング再生および USB メモリーの再生は、HEOS アプリでおこなってください。(P.43 ページ)
- 本機の電源がオンのときに HEOS アプリから再生操作をおこなうと、自動的に再生開始した入力ソースに切り替えます。


音量を調節する

- 1 VOLUME + を押して、音量を調節する。
ディスプレイに音量を表示します。




- 本体の VOLUME を回しても、音量を調節できます。

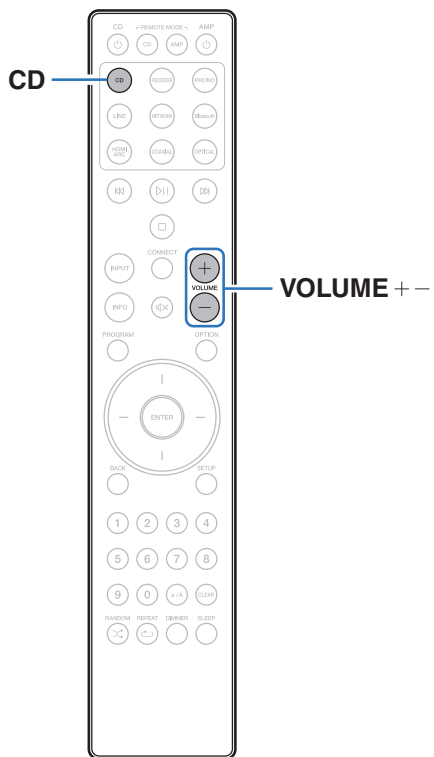
一時的に音を消す(ミュート)

- 1  を押す。
ディスプレイに“Mute”を表示します。



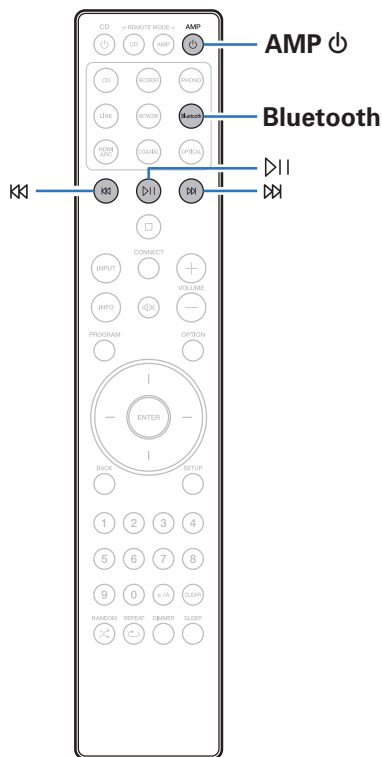
- ミュートを解除するときは、音量を調節するか、もう一度  を押してください。

CDを再生する



- 1 再生の準備をする。
接続を確認して、本機の電源を入れてください。(「再生機器を接続する」(P.24 ページ))
- 2 入力ソース切り替えボタン(CD)を押して、入力ソースを“CD”に切り替える。
ディスプレイに“CD”を表示します。
- 3 CDを再生する。
- 4 VOLUME +- を押して、音量を調節する。

Bluetooth 機器の音楽を聴く



スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。
約 30m の範囲内で通信できます。

ご注意

- Bluetooth 機器の音楽を再生するには、Bluetooth 機器が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽を本機で楽しむときは、あらかじめご使用になる Bluetooth 機器と本機をペアリングしてください。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

1 再生の準備をする。

- ① 付属の Bluetooth/無線 LAN 用外部アンテナを、リアパネルの Bluetooth/無線 LAN 用アンテナ端子に接続する。(P.13 ページ)
- ② AMP 電源ボタンを押して、電源を入れる。

2 Bluetooth を押す。

本機で Bluetooth 再生をはじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになり、本機のディスプレイに“Bluetooth Pairing...”を表示します。

3 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。

4 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名前が表示されたら、本機を選ぶ。

本機のディスプレイに“Bluetooth Pairing...”が表示されている間に、Bluetooth 機器の接続操作をおこなってください。

また、Bluetooth 機器の接続操作は、本機に近い距離(1m程度)でおこなってください。

5 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

- 本機のリモコンでも Bluetooth 機器を操作できます。
- 次回以降、リモコンの Bluetooth を押した場合、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth 機器に接続します。

操作ボタン	機能
▶	再生/一時停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ

2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。

- 1 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
- 2 リモコンの Bluetooth を 3 秒以上押す。
本機はペアリングモードになります。
- 3 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。



- 本機は最大 8 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。9 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。

ご注意

- 本機のリモコンで操作するには、Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している必要があります。
- すべての Bluetooth 機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- Bluetooth 機器によっては、本機は Bluetooth 機器で設定している音量と連動して音声を出力します。

Bluetooth 機器から本機に再接続する

ペアリングが済んでいれば、本体を操作せずに接続することができます。

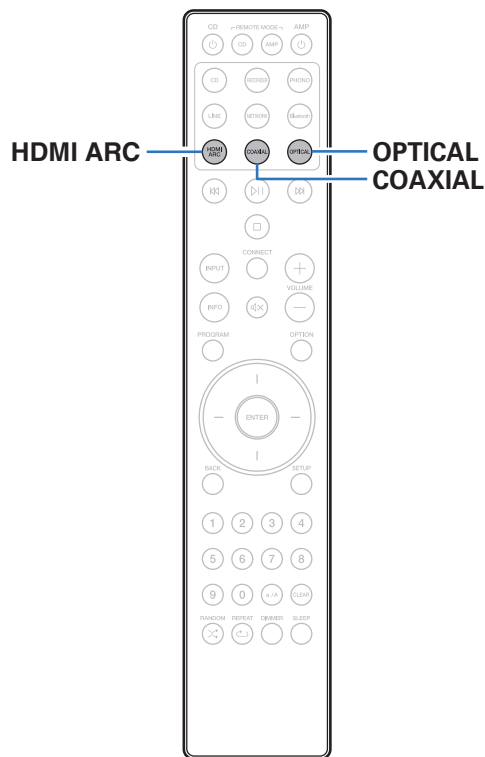
再生する Bluetooth 機器を切り替える場合にもこの操作をおこなってください。

- 1 現在接続している Bluetooth 機器がある場合、その機器の Bluetooth 設定をオフにして接続を切断する。
- 2 接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 設定をオンにする。
- 3 お使いの Bluetooth 機器の Bluetooth 機器リストから本機を選択する。
- 4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。



- 本機の電源および Bluetooth 機能がオンのとき、Bluetooth 機器の接続操作をおこなうと、自動的に入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。
- 設定メニューの“Network Control”を“On”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに Bluetooth 機器から Bluetooth 接続および再生操作をおこなうと、自動的に本機の電源はオンになります。(P.73 ページ)

デジタル入力を再生する



- 1 再生の準備をする。**
接続を確認して、本機の電源を入れてください。(「デジタル音声端子付きの機器を接続する」(P.26 ページ))
- 2 HDMI ARC、COAXIAL または OPTICAL を押して、入力ソースを「HDMI ARC」、「COAXIAL」または「OPTICAL」に切り替える。**
- 3 本機に接続した機器を再生する。**
 - サンプル周波数を検出できない場合は、「Unlocked」を表示します。
 - 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、「Unsupported」を表示します。



- 設定メニューの“TV Input”の設定をおこなうと、本機に接続したテレビの電源オン操作に連動して自動的に本機の電源をオンにし、入力ソースを“HDMI ARC”、“COAXIAL”または“OPTICAL”に切り替えます。(P.69 ページ)
- テレビを光デジタル接続または同軸デジタル接続している場合、TVの電源オフ操作で本機をスタンバイ状態にできません。自動的に本機をスタンバイにしたい場合は、設定メニューの“Auto-Standby”を設定してください。(P.70 ページ)

ご注意

- ドルビーデジタル、DTS、AAC などリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。

■ 再生できる音声信号の仕様

「D/A コンバーターについて」(P.100 ページ)をご覧ください。

■ HDMI コントロール機能

本機と HDMI コントロール機能対応のテレビを HDMI ケーブルで接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、テレビのリモコンで本機の基本操作(入力ソース切り替え、電源オン/オフ、音量調節)をおこなえます。

HDMI コントロール機能については、「HDMI について」(P.104 ページ)をご覧ください。

HEOS アプリをダウンロードする

HEOS アプリから多くのオンライン音楽ストリーミングサービスを使用することができます。無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

App ストア、Google Play ストアまたは Amazon アプリストアで “HEOS” を検索して、iOS 用または Android 用の HEOS アプリをダウンロードしてください。



- HEOS アプリの仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

HEOS アプリに初めて HEOS 機能搭載 機器をセットアップする

本機を設置して HEOS アプリをダウンロードしたら、ホームネットワークに接続するための設定をおこないます。



- 本機を無線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブルを接続しないでください。本機を有線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブル(市販)を使用して、ルーターやハブに接続してください。

1 モバイル端末が無線 LAN(本機を接続するネットワーク)に接続されていることを確認してください。
iOS または Android 機器の“設定” - “Wi-Fi”で確認できます。



- モバイル端末の Bluetooth 設定をオンにしてください。
- 無線 LAN ネットワークがパスワードで保護されている場合は、パスワードを確認してください。

2 モバイル端末で HEOS アプリを起動する。



3 HEOS アプリが起動したら、画面上部の“今すぐセットアップ”をタップする。

4 画面の指示に従って、本機を無線 LAN ネットワークに追加する。

HEOS アプリに HEOS 機能搭載機器の登録を追加する

HEOS システムは、複数の HEOS 機能搭載機器間の音楽再生を自動的に同期できます。HEOS システムには、最大 32 台の HEOS 機能搭載機器を追加できます。また、最大 16 台の HEOS 機能搭載機器を 1 つのグループにすることで、1 台の HEOS 機能搭載機器のように機能させられます。

■ 有線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

LAN ケーブルを使用して、HEOS 機能搭載機器をホームネットワークに接続すると、HEOS アプリのルーム画面に、接続した HEOS 機能搭載機器が表示されます。有線 LAN の接続については、「ホームネットワーク (LAN) に接続する」(P.29 ページ)をご覧ください。


また、HEOS 機能搭載機器に任意の名前を割り当てると、どの部屋に設置した HEOS 機能搭載機器なのか分かりやすくなります。

■ 無線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

HEOS アプリの設定メニューから“デバイスの追加”を選び、画面の指示に従って操作してください。



HEOS アカウント

HEOS アカウントは、HEOS アプリの“ミュージック”タブ - “設定”アイコン  をタップして登録してください。

■ HEOS アカウントとは

HEOS アカウントは、1 つのユーザー名とパスワードですべての HEOS 音楽サービスを管理するマスターアカウントです。


■ HEOS アカウントが必要な理由

HEOS アカウントでログインすれば、例えば友人宅の HEOS システムで音楽を聞くときでも、アカウント登録しているストリーミング音楽サービスや再生履歴、カスタムプレイリストにアクセスできます。

■ HEOS アカウントに登録する

HEOS アプリの“ミュージック”メニューからはじめて音楽サービスにアクセスするときに、HEOS アカウントへの登録をおすすめするメッセージと登録画面を表示します。HEOS アプリの案内に従って操作を完了してください。

■ HEOS アカウントを変更する

- 1 “ミュージック”タブをタップする。
- 2 画面左上の設定アイコン  をタップする。
- 3 “HEOS アカウント”をタップする。
- 4 位置情報の変更やパスワードの変更、アカウントの削除、サインアウトをおこなう。

ストリーミング音楽サービスを再生する

無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。


ご注意

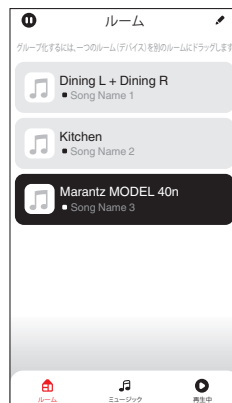
- HEOS アプリおよびブランドは、どちらのモバイルデバイスの製造元とも提携していません。音楽サービスの提供は地域によって異なります。製品購入時にすべてのサービスが利用できるわけではありません。音楽サービスプロバイダまたは第三者の決定に基づき、いくつかのサービスが追加または中止されることがあります。

■ 再生する部屋/HEOS 機器を選ぶ

- 1 “ルーム”タブをタップする。もし複数の HEOS 機器がある場合は、“Marantz MODEL 40n”を選ぶ。



- 右上のえんぴつアイコンをタップすると編集モードになり、表示名を変更することができます。

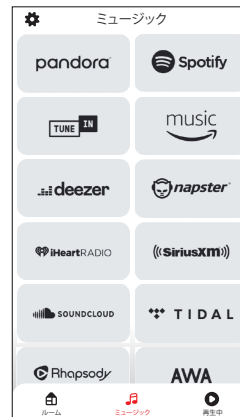


■ 音楽ソースから音楽や放送局を選ぶ

1 “ミュージック”タブをタップし、音楽ソースを選ぶ。



- 画面に表示されている音楽サービスは、お住まいの地域により利用できない場合があります。



2 再生したい音楽を選ぶ。

音楽または放送局を選ぶと、自動的に“再生中”画面に切り替わります。



- 音楽を選択時、音楽をどのようにリストに追加するかを指定します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生しているトラックの直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。

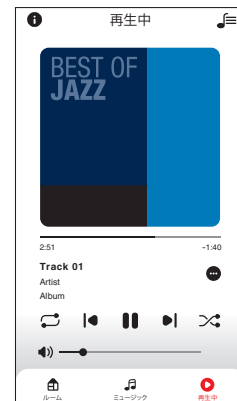
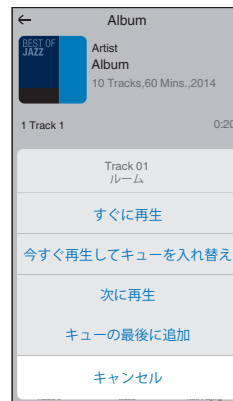


- 放送局を選択時、放送局をどのようにリストに追加するかを指定します。

すぐに再生:	選択した放送局をすぐに再生します。
HEOS お気に入り追加:	HEOS お気に入りに追加します。



- 設定メニューの“Network Control”を“On”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに HEOS アプリから再生操作をおこなうと、本機の電源は自動的にオンになります。(「Network Control」(P.73 ページ))

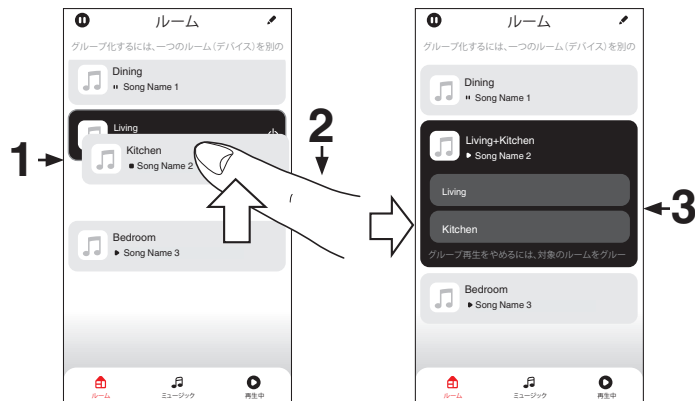


同じ音楽を複数の部屋で聴く

このシステムでは、複数の HEOS 機能搭載機器間で音楽再生を自動的に同期できます。これにより、さまざまな部屋で再生される音楽が完全に同期し、常に素晴らしいサウンドをお楽しみいただけます。このシステムでは最大 32 台の機器を簡単に追加できます。また最大 16 のグループ化が可能で、グループごとに完全に同期して楽曲を再生できます。

■ 部屋をグループ化する

- 1 音楽を再生していない部屋をホールド(指で押さえたままにする)。
- 2 そのまま音楽を再生している部屋までドラッグする。
- 3 2つの部屋が1つのグループにグループ化され、両方の部屋で同じ音楽を再生する。

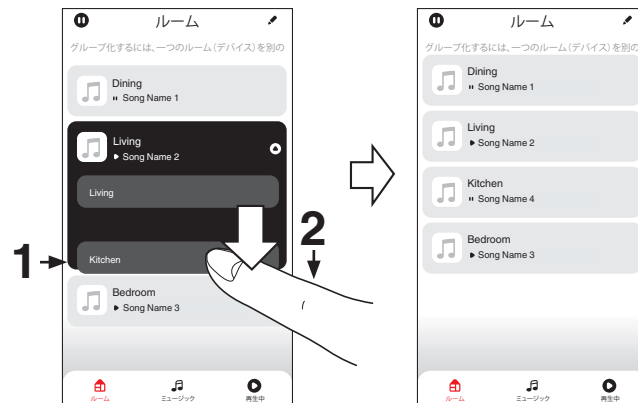


■ 部屋のグループ化を解除する

- 1 グループから外したい部屋をホールド(指で押さえたままにする)。
- 2 グループの外にドラッグして、指を離す。

ご注意

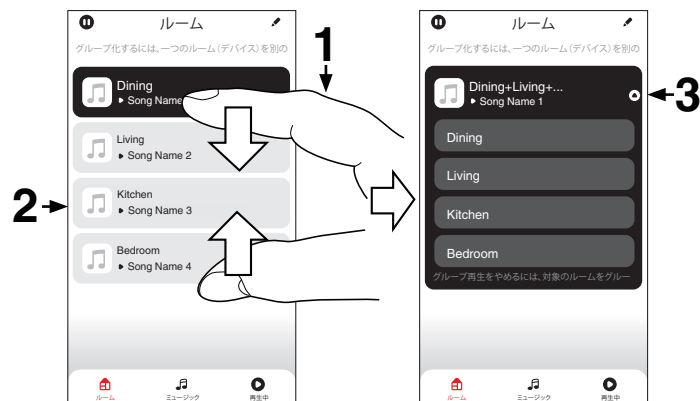
- グループ化は音楽を再生している部屋が基準となるため、その部屋をグループから解除できません。



■ すべての部屋をグループ化する(パーティーモード)

ピンチジェスチャーを使用して、最大 16 の部屋をグループ化できます。

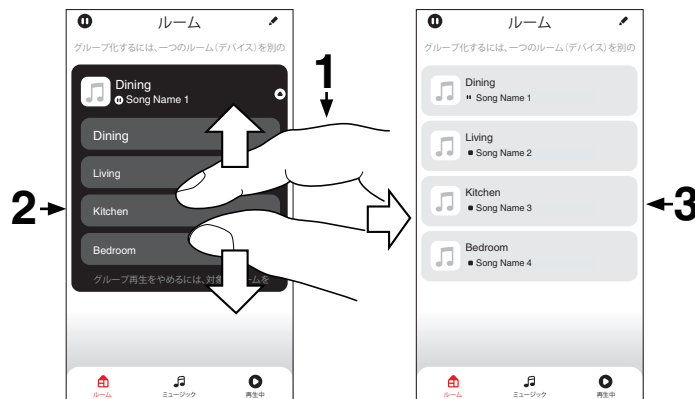
- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を置く。
- 2 2本の指ですばやくつまむ動作をして、画面から離す。
- 3 すべての部屋をグループ化し、同じ音楽がすべての部屋で再生する。



■ すべての部屋のグループ化を解除する

スプレッドジェスチャーを使用して、すべての部屋のグループ化を解除できます。

- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を近づけて置く。
- 2 2本の指をすばやく互いに遠ざけ、画面から離す。
- 3 すべての部屋のグループ化を解除する。



インターネットラジオを聴く

この操作は HEOS アプリ上でおこないます。あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に HEOS アプリをダウンロードしてください。(P.43 ページ)

HEOS システムでは、TuneIn ラジオサービスにアクセスして世界中から 100,000 以上の無料インターネットラジオ放送を視聴できます。TuneIn を“ミュージック”メニューから選び、カテゴリー分けされた 100,000 以上の放送局の中からお気に入りの局を選んでください。



- TuneIn アカウントをお持ちの場合は、“設定” - “ミュージックソース” - “TuneIn” で TuneIn サービスにサインインすると、すべての“お気に入り”の TuneIn ステーションにアクセスできます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、「インターネットラジオの再生について」(P.103 ページ)をご覧ください。

ご注意

- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

モバイル機器に保存されている音楽を再生する

この操作は HEOS アプリ上でおこないます。あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に HEOS アプリをダウンロードしてください。(P.43 ページ)

- 1 “ミュージック”タブをタップする。
- 2 “この iPhone/iPod/iPad/スマートフォン”を選ぶ。
- 3 モバイル端末内の音楽データから再生する音楽を選ぶ。

パソコンやNASに保存されている ファイルを再生する

この操作は HEOS アプリ上でおこないます。あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に HEOS アプリをダウンロードしてください。(P.43 ページ)

- 1 “ミュージック”タブから“ミュージックサーバー”を選ぶ。
- 2 ネットワーク内のパソコンまたはNAS(Network Attached Storage)サーバーの名前を選ぶ。
- 3 パソコンまたはNAS内の音楽データから、再生したい音楽を選ぶ。



- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、「パソコンやNASに保存されているファイルの再生について」(P.102 ページ)をご覧ください。

USBメモリーに保存されているファイル を再生する

この操作は HEOS アプリ上でおこないます。あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に HEOS アプリをダウンロードしてください。(P.43 ページ)

- 1 FAT32 または NTFS でフォーマットされた USB メモリーを本機リアパネルの USB 端子に接続する。
- 2 “ミュージック”タブから“USBメモリ”を選ぶ。
- 3 本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。
- 4 USBメモリー内の音楽データから、再生したい音楽を選ぶ。



- USB メモリーに大量のファイルが保存されている場合は、「USB メモリ」リストに本機の名前が表示されるまでに数分かかる場合があります。
- 本機の USB 端子とパソコンを、USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、「USB メモリーの再生について」(P.99 ページ)をご覧ください。

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

AirPlay 機能

iPhone、iPod touch、iPad や iTunes に保存されている音楽ファイルを、ネットワークを経由して本機で再生できます。



- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に “AirPlay” に切り替わります。
- 他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- iTunes の使用方法は、iTunes の “ヘルプ” をご覧ください。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。

ご注意

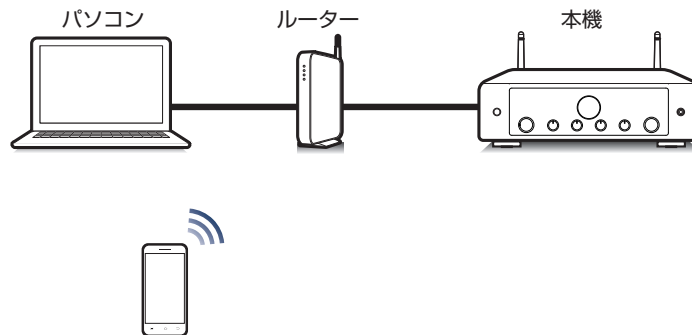
- AirPlay 機能を使用して再生する場合は、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes で設定している音量で出力します。再生する前に、iPhone、iPod touch、iPad または iTunes の音量を最小にしてから適切な音量に調節してください。

本機は AirPlay 2 対応製品です。

複数の AirPlay 2 に対応したデバイスやスピーカーと同期して音楽を同時に再生することが可能です。



- 本機は AirPlay 2 対応製品です。iOS 11.4 以降に対応している必要があります。



iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPad を iOS 10.0.2 以上にアップデートすると、iPhone、iPod touch、iPad の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

1 iPhone、iPod touch または iPad の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。

- 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

2 iPhone、iPod touch、iPad の曲を再生する。

iPhone、iPod touch または iPad の画面に AirPlay アイコンを表示します。

3 AirPlay アイコンをタップして、本機を選ぶ。

[例] iOS 12



[例] iOS 10

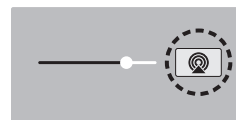


iTunes の曲を本機で再生する

1 本機と同じネットワークに接続しているパソコンに、iTunes 10 以降をインストールする。

2 iTunes を起動し、AirPlay アイコンをクリックして、本機を選ぶ。

[例] iTunes



3 iTunes で曲を選び、再生する。

本機で再生をはじめます。



- 設定メニューの“Network Control”を“On”に設定している場合は、iTunes の操作で本機の電源をオンにできます。(P.73 ページ)

iPhone、iPod touch、iPad の曲を複数の機器で同期して再生する (AirPlay 2)

iPhone、iPod touch、iPad が iOS 11.4 以上の場合、iPhone、iPod touch、iPad の曲を AirPlay 2 対応の複数の機器で同期して再生することができます。

1 iPhone、iPod touch、iPad の曲を再生する。

iPhone、iPod touch または iPad の画面に AirPlay アイコンを表示します。



2 AirPlay アイコンをタップする。

同一ネットワーク上で再生可能な機器/スピーカーの一覧を表示します。

- AirPlay 2 対応の機器名には右側に丸い印が表示されません。



3 再生したい機器/スピーカーをタップする。

- AirPlay 2 対応機器は複数台選ぶことができます。
- 音量調整は機器毎の調整と、全体の音量調整がそれぞれできます。



Spotify Connect 機能

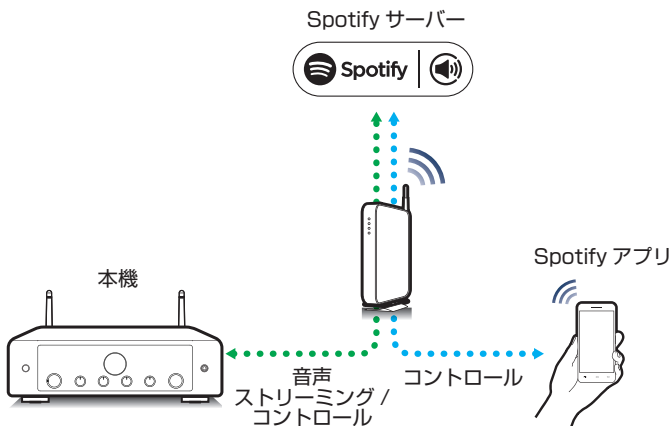
Spotify にはあなたが聴きたい音楽があります。何千万もの楽曲の中からあなたの好みに合ったお奨めの音楽をお楽しみいただけます。従来のプレミアムアカウント(有料)に加え、無料アカウントでも Spotify Connect をご利用になれます。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを操作して、Spotify の音楽を楽しめます。

詳しくは、www.spotify.com/jp/connect をご覧ください。


Spotify ソフトウェアには次のサードパーティのライセンスが適用されます。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses

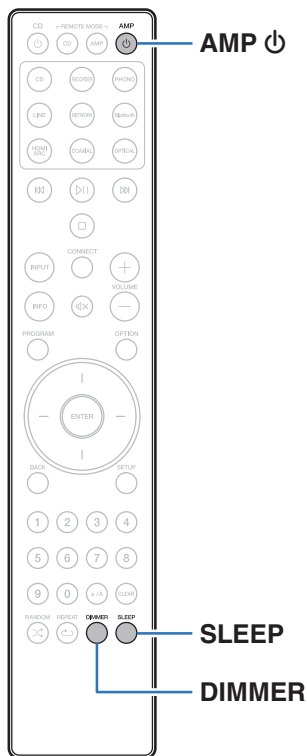


Spotify の曲を本機で再生する

あらかじめお手持ちの機器の iOS または Android 機器に "Spotify アプリ" をダウンロードしてください。

- 1 iOS または Android 機器の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。
- 2 Spotify アプリを起動する。
- 3 Spotify の曲を再生する。
- 4 Spotify アイコン  をタップして、本機を選ぶ。
本機で再生をはじめます。

便利な機能



音質および音量バランスを調節する

- 1 本体の SOURCE DIRECT を回して、“SOURCE DIRECT OFF” に設定する。
- 2 本体の BASS、TREBLE および BALANCE を回して、音質および音量バランスを調節する。

ソースダイレクトモードで再生する

音声信号が音質調節回路 (BASS、TREBLE、BALANCE) を通らないため、より原音に忠実な再生ができます。

- 1 本体の SOURCE DIRECT を回して、“SOURCE DIRECT ON” に設定する。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを 4 段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMER を押す。

- ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。



- ディスプレイが消灯しているときにボタン操作をおこなうと、一時的に情報を表示します。
- お買い上げ時のディスプレイの明るさは、最も明るい設定です。

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにします。音楽などを聴きながらおやすみになるときに便利です。

1 再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。

- 設定時間は 10 分間隔で最大 90 分まで選択できます。
- 約 5 秒後、設定を確定しもとの表示に戻ります。

■ スリープタイマーを解除する


1 SLEEP を押して“Sleep Off”を選ぶ。



- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。
- スリープタイマーを設定した状態で SLEEP を押すと、スリープタイマーが動作するまでの残り時間を表示します。

録音する

本機に入力した音声信号を、外部の録音機器に出力することができます。本機に接続した再生機器の音声を録音する際、再生機器を本機に接続したまま録音できます。

- 1 AMP  を押して、電源を入れる。
- 2 入力ソース切り替えボタンを押して、録音したい入力ソースに切り替える。
ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。
- 3 録音をはじめる。
 - 操作のしかたは、録音機器の取扱説明書をご覧ください。

本機をパワーアンプとして使用する

プリアンプを接続して本機をパワーアンプとしてお使いの場合は、本機の入力ソースを“PWR AMP”に切り替えてください。

- 1 本体の INPUT を回して、入力ソースを“PWR AMP”に切り替える。
ディスプレイに“PWR AMP”を表示します。



- 入力ソースが“PWR AMP”のとき、本機の音量、バランス、音質の調節はできません。それらの調節はプリアンプでおこなってください。

ご注意

- 入力ソースが“PWR AMP”のとき、本機の音量は最大になります。再生する前に入力側の機器の出力レベルを確認し、音量を調節してください。
- 入力ソースを“PWR AMP”にすると、本機のネットワーク機能は無効になります。“PWR AMP”から他の入力ソースに切り替えると本機が再起動し、ネットワーク機能が有効になります。
- 入力ソースを“PWR AMP”にすると、本機の“Auto-Play”機能は無効になります。(P.69 ページ)

設定のしかた

設定メニュー 一覧

設定メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。
お買い上げ時の設定はおすすめの設定にしております。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズできます。

設定項目	詳細項目	内容	参照ページ
Audio	Digital Filter	本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。	67
	Lock Range	“Lock Range”の設定を狭めると、ジッターが低減され、明瞭な音質になります。	67
	Volume Limit	音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。	68
	Low Pass Filter	サブウーハー出力のローパスフィルターを設定します。お持ちのスピーカーとサブウーハーに合わせて設定してください。	68
TV	TV Input	本機でテレビの音声を再生するときの入力ソースを設定します。	69
	Auto-Play	“TV Input”で設定した入力ソースの音声信号が入力されると、自動的に入力ソースが切り替わって再生する“Auto-Play”機能のオン/オフを設定します。	69
	HDMI Power Off Control	TVの電源オフ操作に連動して本機の電源がスタンバイになる、“HDMI Power Off Control”機能の設定をします。	69
General	Lighting	ライティング LED の明るさを 4 段階で調節できます。また、ディスプレイの明るさに連動させることもできます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。	70
	Auto-Standby	未使用時、本機の電源を自動的にスタンバイにします。	70
	Reset	各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。	71

設定項目	詳細項目	内容	参照ページ
Network	Network & USB-A	ネットワークおよび USB メモリー再生(USB-A)機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。	72
	Wi-Fi	Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。	72
	Bluetooth	Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。	72
	Network Control	スタンバイ時のネットワーク機能のオン/オフを設定します。	73

目次

接続のしかた

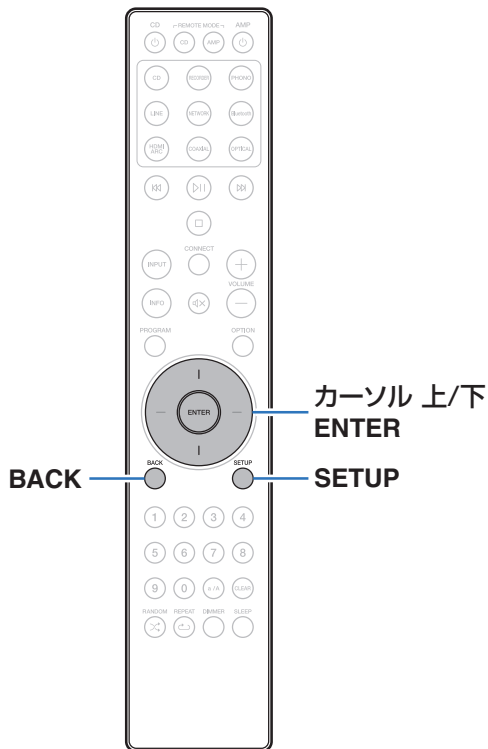
再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

設定メニューの操作のしかた



- 1 **SETUP** を押す。
ディスプレイに設定メニューを表示します。
- 2 カーソル 上/下を押して設定または操作したい設定メニューを選び、**ENTER** を押す。
- 3 カーソル 上/下を押して、お好みの設定に変更する。
- 4 **ENTER** を押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、**BACK** を押してください。
 - 設定メニューを終了するときには、設定メニュー表示中に **SETUP** を押してください。通常表示に戻ります。

Audio

音声に関する設定をします。

Digital Filter

本機にはお好みの音質で再生をお楽しみいただけるように音質の調節機能を搭載しています。PCM 入力信号に対応しています。

Filter 1

(お買い上げ時の設定):

プリエコー、ポストエコー共に非常に短い、対称インパルス応答の特性です。非常に正確なサウンドステージとスムーズなトーンバランスです。

Filter 2:

非常に短いプリエコーと、プリエコーと比較して長いポストエコーの非対称インパルス応答の特性です。ニュートラルなトーンバランスで、“Filter 1”と比較するとわずかに明るい音調です。

Lock Range

“Lock Range”の設定を狭めると、ジッターが低減され、明瞭な音質になります。ただし、“Lock Range”の設定を狭めすぎると、再生中や異なるサンプリング周波数の曲に切り替えた場合に、音途切れやノイズが発生することがあります。その場合は、音声を聴きながら正常に聴こえるように“Lock Range”の設定を広げてください。

Narrow / Medium / Wide (お買い上げ時の設定:Wide)



- “Lock Range”の設定は入力ソースごとに記憶しますが、ネットワーク再生、USB メモリーおよび Bluetooth は共通の設定を記憶します。
- アナログ音声入力ソースには、“Lock Range”の設定をおこなえません。

Volume Limit

音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。

Off
(お買い上げ時の設定): 音量の上限を設定しません。(100)

95 / 90 / 85 / 80

Low Pass Filter

サブウーハー出力のローパスフィルターを設定します。お持ちのスピーカーとサブウーハーに合わせて設定してください。出力音声信号の周波数が設定値より低い場合に設定してください。

40 Hz / 60 Hz / 80 Hz / 100 Hz / 120 Hz
(お買い上げ時の設定: 80 Hz)

TV

TV Input

本機でテレビの音声を再生するときの入力ソースを設定します。テレビとの接続に使用する端子に合わせて設定してください。

None / HDMI ARC / Optical / Coaxial

(お買い上げ時の設定: HDMI ARC)

Auto-Play

本機にテレビの音声信号を入力すると、自動的に入力ソースを“TV Input”で設定した入力ソースに切り替えて、テレビの音声を本機で再生する“Auto-Play”機能の設定をします。

On
(お買い上げ時の設定): “Auto-Play”機能を有効にします。

Off: “Auto-Play”機能を無効にします。



- “TV Input”を“None”に設定している場合は、“Auto-Play”機能ははたらかしません。あらかじめ“TV Input”の設定をおこなってください。
- お使いのテレビによっては、“Auto-Play”機能がはたらかない場合があります。

HDMI Power Off Control

HDMI 接続している TV の電源オフ操作に連動して、本機の電源がスタンバイになる“HDMI Power Off Control”機能の設定をします。

All
(お買い上げ時の設定): 本機の入力ソースに関わらず、テレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。

HDMI ARC: 入力ソースが HDMI ARC のときに TV の電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。

Off: 本機はテレビの電源に連動しません。

General

Lighting

ライティング LED の明るさを 4 段階で調節できます。また、ディスプレイの明るさに連動させることもできます。

ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

Sync ディスプレイの明るさに連動します。
(お買い上げ時の設定): (P.62 ページ)

Bright / Dim / Dark / Off



- DIMMER ボタンでディスプレイの明るさを消灯に設定した場合、“Lighting”の設定に関わらずライティング LED が消灯します。(P.62 ページ)

Auto-Standby

入力信号がない状態で本機を操作しないときに、本機を自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。

Off (お買い上げ時の設定):	自動的に本機をスタンバイ状態にしません。
1 min:	約 1 分後に本機をスタンバイ状態にします。
5 min:	約 5 分後に本機をスタンバイ状態にします。
15 min:	約 15 分後に本機をスタンバイ状態にします。
30 min:	約 30 分後に本機をスタンバイ状態にします。
60 min:	約 60 分後に本機をスタンバイ状態にします。
90 min:	約 90 分後に本機をスタンバイ状態にします。

Reset

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をおこなってください。

Cancel: リセットしません。

OK: リセットします。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

Network

Network & USB-A

ネットワークおよび USB 再生(USB-A)機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。CD 再生や D/A コンバーター機能をご使用のときに、高音質な再生ができます。

On
(お買い上げ時の設定): ネットワークおよび USB メモリー再生 (USB-A)機能を有効にします。

Off: ネットワークおよび USB メモリー再生 (USB-A)機能を無効にします。



- “Network & USB-A”の設定を切り替えると、本機が再起動をはじめます。

Wi-Fi

Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。有線 LAN を使用して本機をネットワークに接続する場合に、高音質な再生ができます。

On
(お買い上げ時の設定): Wi-Fi 機能をオンにします。

Off: Wi-Fi 機能をオフにします。

Bluetooth

Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

On
(お買い上げ時の設定): Bluetooth 機能をオンにします。

Off: Bluetooth 機能をオフにします。

iOS 機器の Wi-Fi 設定を共有して接続する

本機は、Apple 社の“WAC (Wireless Accessory Configuration)”セットアップモードに対応しています。WAC セットアップモードでは、お手持ちの iOS デバイス (iPhone/iPod/iPad) を使用してネットワークに接続します。iOS デバイスと本機を接続することで、自動的に本機を同じネットワークに接続できます。

1 OPTION を押す。

ディスプレイにオプションメニューを表示します。

2 “AirPlay Setup” 選び、ENTER を押す。

ディスプレイに“Network Setup”を表示し、本機が WAC セットアップモードになります。

3 iOS デバイスの Wi-Fi 設定画面の下部にある“新しい AIRPLAY スピーカーを設定...”から“Marantz MODEL 40n”を選ぶ。

- あらかじめ、iOS デバイスが無線 LAN (Wi-Fi) ルーターに接続していることを確認してください。

4 本機を接続するネットワークを選び、“次へ”を押す。

5 画面の指示に従って接続を完了する。

接続が完了すると、ディスプレイに“Connected”を表示します。

ご注意

- iOS 機器のファームウェアのバージョンが iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。
- WAC セットアップモードは約 15 分間続きます。15 分以内にセットアップが完了しない場合、WAC セットアップモードは自動的に解除されます。手動で WAC セットアップモードを解除する場合は、BACK ボタンを押してください。

ルーターのWPS ボタンを使って接続する

WPS (Wi-Fi Protected Setup™)対応の無線ルーターをお使いの場合は、本機を「プッシュボタン方式」でネットワークに接続できます。(Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標です。)

1 ルーターの WPS ボタンを押します。

2 2分以内にリモコンの CONNECT ボタンを 5 秒以上長押しする。

ディスプレイに“WPS Connecting”を表示して接続を開始します。

- 接続が完了すると、ディスプレイに“WPS Connected”を表示します。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい	77
テレビの音声を高音質に再生したい	77
お好みの音質に調節したい	77
原音に忠実な再生をしたい	77
フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい	78
ディスプレイを消灯したい	78
ライティング LED を消灯したい	78
電源オフ状態から簡単に操作したい	78
誤って音量が大きくならないようにしたい	78
本機のリモコンで Marantz 製 CD プレーヤーを操作したい	78
本機をパワーアンプとして使用したい	78
HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい	78

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	80
リモコンで操作ができない	82
本機のディスプレイが表示されない	82
音がまったく出ない	83
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	84
希望する音が出ない	86
AirPlay 再生ができない	87
USB メモリーが再生できない	88
Bluetooth が再生できない	89
インターネットラジオが再生できない	90
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー)	91
各種オンラインサービスが再生できない	92
無線 LAN ネットワークに接続できない	92
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC/Coaxial/Optical)	94
入力ソースが“HDMI ARC”、“Optical”または“Coaxial”に切り替わる	94
HDMI コントロール機能がはたらかない	94
アップデート/アップグレードエラーメッセージ	95

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい

- ネットワークおよび USB メモリー再生(USB-A)機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Network & USB-A”を“Off”に設定してください。(👉72 ページ)
- Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Wi-Fi”を“Off”に設定してください。(👉72 ページ)
- Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Bluetooth”を“Off”に設定してください。(👉72 ページ)

テレビの音声を高音質に再生したい

- 本機の HDMI ARC 端子にテレビを接続する場合、ARC 機能に対応した HDMI 入力端子に接続してください。(👉26 ページ)
- ARC 機能に非対応のテレビや、HDMI 端子が無いテレビと接続する場合、光デジタル接続または同軸デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。(👉26 ページ)
- 本機で再生できるデジタル音声信号は、2 チャンネルリニア PCM です。

好みの音質に調節したい

- 低音調節つまみ(BASS)、高音調節つまみ(TREBLE)、バランス調節つまみ(BALANCE)で好みの音質に調節してください。(👉61 ページ)

原音に忠実な再生をしたい

- ソースダイレクトモードをオンに設定してください。(👉61 ページ)

フィルターの特性を切り替えて音質の違いを楽しみたい

- フィルターの特性を切り替えてください。(🔍67 ページ)

ディスプレイを消灯したい

- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(🔍62 ページ)

ライティング LED を消灯したい

- “Lighting” の設定を “Off” にしてください。(🔍70 ページ)

電源オフ状態から簡単に操作したい

-  ボタンを押すと、自動的に本機の電源が入り、最後に選択していた入力ソースの再生をはじめます。
- “Network Control” の設定を “On” にすると、AirPlay や HEOS アプリから起動と同時に再生操作ができます。(🔍73 ページ)

誤って音量が大きくならないようにしたい

- 設定メニューの “Volume Limit” で音量の上限値をあらかじめ設定してください。小さな子供が誤って音量を上げすぎることを防ぎます。(🔍68 ページ)

本機のリモコンで Marantz 製 CD プレーヤーを操作したい

- 本機のリモコンでも Marantz 製 CD プレーヤーを操作できます。CD プレーヤーの取扱説明書もあわせてお読みください。(🔍18 ページ)

本機をパワーアンプとして使用したい

- 本機の POWER AMP IN 端子にプリアンプを接続し、入力ソースを “PWR AMP” に切り替えてください。(🔍31 ページ)

HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい


- 設定メニューの “HDMI Power Off Control” を “Off” に設定してください。(🔍69 ページ)

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか



- 上記の手順 1～3 をおこなっても動作が改善しない場合、本機を再起動すると改善することがあります。
ディスプレイに“Restart”が表示されるまで、本体の  ボタンを押し続けるか、本機の電源コードを抜き差ししてください。

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.33 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。本体の **⏻** ボタンを押すかリモコンの AMP **⏻** ボタンを押してください。(P.35 ページ)
- 入力ソースを“PWR AMP”に設定し、本機をスタンバイ状態にした場合、本機の“Auto-Play”機能は無効になります。テレビの電源を入れても、本機の電源は入りません。本体の **⏻** ボタンを押すかリモコンの AMP **⏻** ボタンを押してください。(P.35 ページ)

電源が自動的に切れる。

- スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。(P.62 ページ)
- “Auto-Standby”が設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“Auto-Standby”が動作します。“Auto-Standby”を無効にするには、メニューの“Auto-Standby”を“Off”に設定してください。(P.70 ページ)
- 本機と電源連動機能に対応した Marantz 製オーディオ機器をリモート接続することにより、本機に接続した機器の電源オフ操作に連動して本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。(P.32 ページ)
- “HDMI Power Off Control”が設定されています。HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。“HDMI Power Off Control”を無効にするには、設定メニューの“HDMI Power Off Control”を“Off”に設定してください。(P.69 ページ)

本機が自動的に再起動する。

- “PWR AMP”から他の入力ソースに切り替えると、本機が再起動します。(P.63 ページ)
- 設定メニューの“Network & USB-A”のオンオフを切り替えると、本機が再起動します。(P.72 ページ)

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 2 回橙色点滅している。

- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 3 回橙色点滅している。

- 本機の電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 4 回橙色点滅している。

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。
- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(P.21 ページ)
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。

電源が切れ、保護回路動作表示が長く 1 回橙色点滅したあとに、短く 5 回橙色点滅している。

- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路または電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.8 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.8 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.8 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- リモコンのリモートモード切り替えボタン(REMOTE MODE AMP)を押して、リモコン操作モードを“AMP”にしてください。(P.15 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- リモコンの DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。(P.62 ページ)

音がまったく出ない

スピーカーから音が出ない。

- すべての機器の接続を確認してください。(🔗20 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。(🔗21 ページ)
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締め付けがゆるんでいないか確認してください。(🔗21 ページ)
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(🔗36 ページ)
- 音量を適切な大きさに調節してください。(🔗36 ページ)
- ミューティング(消音)モードを解除してください。(🔗36 ページ)
- 外部機器から本機に音声を入力している場合、適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(🔗36 ページ)
- 接続した機器のデジタル音声出力の設定を確認してください。機器によってはお買い上げ時の設定が“オフ”になっていることがあります。
- 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子から音が出なくなります。(🔗10 ページ)
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- Bluetooth 接続で再生する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングしてください。(🔗38 ページ)

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

インターネットラジオや USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。

- USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。
- ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。

携帯電話で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。

- 携帯電話を本機から 20cm 以上離して通話してください。

Wi-Fi 接続時に音が途切れる。

- 無線 LAN で使用する周波数帯域は、電子レンジ・コードレスフォン・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・その他の無線 LAN 機器で使用します。そのため、これらの機器と本機を同時に使用すると、電波干渉により音途切れが発生する場合があります。次の方法をおこなうと、音途切れが改善される場合があります。(P.29 ページ)
 - 干渉している機器を本機から離して設置する。
 - 干渉している機器の電源を切る。
 - 本機に接続しているルーターのチャンネル設定を変更する。(チャンネルの変更のしかたは、無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
 - 有線 LAN 接続に切り替える。
- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。(P.72 ページ)

音がひずんだり、ノイズが入ったりする。

- “Lock Range”の設定が狭すぎます。音楽を聴きながら、正常に聞こえるまで“Lock Range”の設定を広げてください。(☞ 67 ページ)

レコード再生のときに、音がひずむ。

- 針圧を調節してください。
- レコードの針先を確認してください。
- カートリッジを交換してください。

レコード再生のときに、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される。

- レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。(☞ 24 ページ)
- レコードプレーヤーの近くにテレビや AV 機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビや AV 機器などから離して設置してください。

レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音がスピーカーから出力される。(ハウリング現象)

- レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。(☞ 24 ページ)
- スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。

希望する音が出ない

音量が上がらない。

- 音量の上限値が低く設定されています。設定メニューの“Volume Limit”で上限値を設定してください。(P.68 ページ)

左右の音量バランスが悪い。

- バランス調節つまみ(BALANCE)を調節してください。(P.61 ページ)

サブウーハーから音が出ない。

- サブウーハーの接続を確認してください。(P.22 ページ)
- サブウーハーの電源を入れてください。

低音調節つまみ(BASS)、高音調節つまみ(TREBLE)およびバランス調節つまみ(BALANCE)の設定が反映されない。

- 低音調節つまみ(BASS)、高音調節つまみ(TREBLE)およびバランス調節つまみ(BALANCE)の設定は、サブウーハー出力には反映されません。
- ソースダイレクト切り替えつまみ(SOURCE DIRECT)で、ソースダイレクトモードをオフに設定してください。(P.61 ページ)

ステレオ再生のときに、左右の音声が入れ替わっている。

- 左右のスピーカーが正しいスピーカー端子に接続されているか確認してください。(P.23 ページ)

AirPlay 再生ができない

iTunes/iPhone/iPod touch/iPad 上に AirPlay のアイコンが表示されない。

- 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク(LAN)に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。(参照 29 ページ)
- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。
- 設定メニューの“Network & USB-A”を“On”に設定してください。“Network & USB-A”を“Off”に設定している場合は、AirPlay 機能ははたらきません。(参照 72 ページ)

音が出ない。

- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の音量が最小になっています。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の音量と本機の音量は連動しています。適切な値に設定してください。
- AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad の画面で AirPlay アイコンをクリックして、本機を選択してください。(参照 58 ページ)

iPhone/iPod touch/iPad で AirPlay 再生時に音が途切れる。

- iPhone/iPod touch/iPad のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。
- 無線接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。

リモコンで iTunes の再生操作ができない。

- iTunes の“リモートスピーカーから iTunes のコントロールを許可する”の設定を有効にしてください。リモコンで再生/一時停止/スキップ操作ができます。

USB メモリーが再生できない

USB メモリーが認識できない。

- USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。(P.28 ページ)
- マスストレージクラス対応の USB メモリーに対応しています。
- 本機は、USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは直接接続してください。
- USB メモリーのフォーマットを“FAT32”または“NTFS”に設定してください。
- すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続してください。
- 設定メニューの“Network & USB-A”を“On”に設定してください。“Network & USB-A”を“Off”に設定している場合は、USB メモリー再生を機能ははたらきません。(P.72 ページ)

USB メモリー内のファイルを表示しない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(P.99 ページ)
- 本機が表示できるファイルのフォルダ階層は最大 8 階層です。また、1 階層あたり最大 5000 ファイル(フォルダ)です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。
- USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。

iOS および Android 機器が認識できない。

- 本機の USB 端子は、iOS および Android 機器の再生には対応していません。

USB メモリー内のファイルを再生できない。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(P.99 ページ)
- 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- ファイルサイズが 2MB を超えるアルバムアートを使用している場合、再生できない場合があります。

Bluetooth が再生できない

本機に Bluetooth 機器が接続できない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、再度接続をお試しください。
- 設定メニューの“Bluetooth”を“On”に設定してください。“Bluetooth”を“Off”に設定している場合は、Bluetooth 機能ははたらきません。(🔍72 ページ)
- 設定メニューの“Network & USB-A”を“On”に設定してください。“Network & USB-A”を“Off”に設定している場合は、Bluetooth 機能ははたらきません。(🔍72 ページ)

音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth の再接続操作をおこなってください。

インターネットラジオが再生できない

HEOS アプリのラジオ局のリストが表示されない。

- LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。(P.29 ページ)

インターネットラジオが再生できない。

- 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは WMA、MP3 と MPEG-4 AAC です。(P.103 ページ)
- ルーターのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。
- ルーターの電源が入っているか確認してください。
- 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。(P.54 ページ)
- ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。

HEOS アプリでお気に入りに登録したラジオ局に接続できない。

- ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。

パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー)

パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。

- ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。(P.102 ページ)
- 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- 本機のUSB端子にパソコンを接続しても、パソコン内の音楽ファイルは再生できません。パソコンはネットワーク経由で本機に接続してください。(P.29 ページ)
- メディアの共有設定が正しくありません。本機がアクセスできるように設定を変更してください。詳しくはメディアの取扱説明書をご覧ください。

サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。

- パソコンまたはルーターのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルーターのファイアウォールの設定を確認してください。
- パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。
- サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。

HEOS アプリ上でパソコン内やNAS内のファイルが表示されない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(P.102 ページ)

NASに保存した曲が再生できない。

- DLNA 準拠のNASをご使用の場合は、NASの設定でDLNAサーバー機能を有効にしてください。
- DLNAに準拠していないNASをご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。また、Windows Media Playerのメディア共有機能設定をおこなない、再生対象フォルダにNASを追加してください。
- 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。

各種オンラインサービスが再生できない

各種オンラインサービスが再生できない。

- サービスが終了している可能性があります。

無線 LAN ネットワークに接続できない

ネットワークに接続できない。

- HEOS 機能搭載機器の設定をおこなう前に、スマートフォン/タブレットが無線 LAN ネットワークでホームネットワークに接続されていることを確認してください。(P.44 ページ)
- LAN ケーブル(市販)を使用して、本機をネットワークルーターに接続できます。LAN ケーブルで接続すると HEOS アプリは本機を認識しますので、“設定” - “マイデバイス” - (“デバイス名”) - “ネットワーク”から接続する無線 LAN ネットワーク名を選び、手動で接続してください。
- 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しをよくしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。
- アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。
- 本機は WEP(TSN)との互換性はありません。
- 入力ソースを“PWR AMP”にすると、本機のネットワーク機能は無効になります。“PWR AMP”から他の入力ソースに切り替えると本機が再起動し、ネットワーク機能が有効になります。ネットワーク機能が有効になるまでに時間が掛かる場合があります。(P.63 ページ)

WPS ルーターに接続ができない。

- ルーターの WPS モードが動作しているか確認してください。
- ルーターの WPS ボタンを押してから 2 分以内に、リモコンの CONNECT ボタンを 5 秒以上長押ししてください。(🔍 75 ページ)
- WPS2.0 規格に対応したルーター/設定が必要です。暗号化タイプを“無し”、“WPA-PSK(AES)”または“WPA2-PSK(AES)”に設定してください。
- ルーターの暗号化方式が WEP/WPA-TKIP/WPA2-TKIP のいずれかの場合は、WPS ボタンを使用して接続することはできません。HEOS アプリで接続するか、iOS 端末の Wi-Fi 設定を共有して接続してください。(🔍 74 ページ)

iPhone/iPod touch/iPad を使用したネットワーク接続ができない。

- iPhone/iPod touch/iPad を最新のファームウェアにアップデートしてください。
- また、無線接続で設定する場合は、iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。

スタンバイ中にネットワークに接続できない。

- 設定メニューの“Network Control”を“On”に設定してください。“Network Control”が“Off”の場合、スタンバイ時にネットワーク機能を停止します。(🔍 73 ページ)
- 入力ソースが“PWR AMP”のときに本機をスタンバイにすると、ネットワーク機能が無効なままスタンバイになります。(🔍 63 ページ)

デジタル機器の音声を再生できない(HDMI ARC/Coaxial/Optical)

“Unlocked”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“Unlocked”を表示します。(P.41 ページ)

“Unsupported”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。(P.41 ページ)
- HDMI ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。

入力ソースが“HDMI ARC”、“Optical”または“Coaxial”に切り替わる

本機に接続しているテレビの電源を入れると入力ソースが“HDMI ARC”、“Optical”または“Coaxial”に自動的に切り替わる。

- 設定メニューの“Auto-Play”を“Off”に設定してください。(P.69 ページ)

HDMI コントロール機能がはたらかない

HDMI コントロール機能がはたらかない。

- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。
- 本機に接続しているテレビのHDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。

アップデート/アップグレードエラーメッセージ

アップデート/アップグレードが中断または失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ディスプレイ	内容
Connection failed. Please check your network, then try again.	ネットワークの回線が不安定です。 サーバーとの接続に失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Update failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Upgrade failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Please check your network, unplug and reconnect the power cord, and try again.	アップデートに失敗しました。 本体の ⏻ ボタンを 5 秒以上長押しするか、電源コードを挿入し直してください。 アップデート後は自動的に再起動します。
Please contact customer service in your area.	機器が故障している可能性があります。 お客様相談センターにお問い合わせください。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

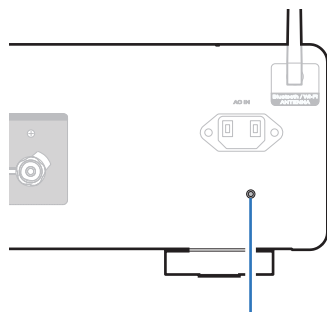
困ったときは

付録

お買い上げ時のファームウェアに復元する

本機やネットワーク機能が正しく動作しない場合に、お買い上げ時のファームウェアに復元すると改善できる場合があります。設定メニューの“General” - “Reset”を試しても動作しない場合にこの操作をおこなってください。(P.71 ページ)

ファームウェアを復元すると各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定およびファームウェアのアップデートをおこなってください。



ファームウェアリセットボタン

- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 リアパネルのファームウェアリセットボタンを押しながら、電源コードを差し込む。
- 3 ディスプレイに“Factory Restore”が表示されたら、ボタンから指を離す。
ファームウェアの復元が完了するとディスプレイに“Restore Completed”が約 5 秒間表示され、本機を自動的に再起動します。



- この操作はネットワークへの再接続、ファームウェアの復元およびアップデートを伴うため時間がかかります。
- この操作をおこなっても改善できない場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。

ご注意

- ファームウェアの復元が完了するまで、電源を切らないでください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料・・・故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代・・・修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料・・・製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼される時

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼される時

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼される時のために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

USB メモリーの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/Apple Lossless/DSD)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.m4a
DSD	2.8/5.6MHz	-	.dsf/.dff

- *1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- *2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC) デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>)に基づいて配布されています。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目	メディア	USB メモリー
フォルダの階層数 *1		8 階層
フォルダ数		500
ファイル数 *2		5000

*1 制限数にはルートフォルダを含みます。

*2 USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

D/A コンバーターについて

■ 再生できる音声信号の仕様

□ HDMI ARC/Coaxial/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	16/24 ビット

Bluetooth 機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラルやステレオの音声データを高品質にストリーミング配信することができます。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、本機から Bluetooth 機器を操作することができます。

■ Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と Bluetooth 機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

パソコンやNASに保存されているファイルの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/WAV/FLAC)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/ 176.4/192kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.m4a
DSD	2.8/5.6MHz	-	.dsf/.dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。

インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC) デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>) に基づいて配布されています。

インターネットラジオの再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/ .m4a

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。

HDMI について

本機は次の HDMI 機能に対応しています。

- **ARC(Audio Return Channel)機能**

ARC 機能対応のテレビと本機を HDMI 接続するだけで、テレビの映像や音声を楽しめます。

- **HDMI コントロール機能**

HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールできます。

- **入力ソースの切り替え**

テレビの電源をオンにすると、自動的に本機の電源もオンになり、本機の入力ソースがテレビに切り替わります。

- **電源オフ連動**

テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源もオフになります。

- **音量調節**

テレビのリモコンを使用して、本機の音量を調節できます。

- **音声出力先の切り替え**

本機の電源がオンになると、テレビの音声は本機から出力されます。本機の電源がオフになると、テレビの音声はテレビのスピーカーから出力されます。



- 接続しているテレビによっては、動作しない機能があります。
- 入力ソースが“HDMI ARC”のとき、テレビのリモコンを使用して本機の音量を調節できます。

用語の解説

■ 音声

Apple Lossless Audio Codec

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod、iPhone で再生が可能です。約 60~70%に圧縮されたデータは完全に元どおりのデータに再現できます。

DSD(Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。

FLAC(Free Lossless Audio Codec)

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright(C)

2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3(MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)できます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ビットレート

ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

■ ネットワーク

AirPlay

iTunes または iPhone/iPod touch に収録されているコンテンツを、ネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

WEP Key(ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化/復号化ともに同一の WEP キー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

WPA(Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi アライアンスが策定したセキュリティ規格です。従来の SSID(ネットワーク名)や WEP キー(ネットワークキー)に加えて、ユーザー認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2(Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi アライアンスが策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA-PSK/WPA2-PSK(Pre-shared Key)

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

ネットワーク名(SSID: Service Set Identifier)

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID (ネットワーク名)」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

■ その他

ソースダイレクト

入力された音声信号を、音質調節回路(BASS/TREBLE/BALANCE)を通さずに出力するため、より原音に忠実な再生がおこなえます。

ペアリング

ペアリング(登録)とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。

はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

登録商標について



Apple, AirPlay, iPad, iPad Air, iPad Pro and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、D&M Holdings Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。



HDMI, High-Definition Multimedia Interface, および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。

主な仕様

■ オーディオ部

定格出力(20Hz~20kHz 両チャンネル同時駆動):	70W×2(8Ω 負荷) 100W×2(4Ω 負荷)
全高調波歪率 (20Hz~20kHz 両チャンネル同時駆動、8Ω 負荷):	0.02%
周波数特性(CD、1W、負荷 8Ω):	5Hz~100kHz ±3dB
ダンピングファクター(8Ω 負荷、20Hz~20kHz):	100 以上
入力感度/インピーダンス:	PHONO(MM): 1.6mV/47kΩ CD, LINE, RECORDER: 220mV/16kΩ POWER AMP IN: 1.5V/15kΩ SUBWOOFER OUT: 220mV
出力電圧:	80mV
PHONO 最大許容入力(1kHz)MM:	±0.5dB
RIAA 偏差(20Hz~20kHz):	PHONO(MM): 87dB(5mV 入力時) CD, LINE, RECORDER: 113dB(定格出力) POWER AMP IN: 125dB(定格出力)
S/N 比(IHF A ネットワーク、負荷 8Ω):	BASS(50Hz): ±10dB TREBLE(15 kHz): ±10dB
トーンコントロール:	

■ 無線 LAN 部

ネットワーク種類(無線 LAN 規格):	IEEE 802.11a/b/g/n/ac に対応 (Wi-Fi®準拠)*1
セキュリティ:	WEP 64bit, WEP 128bit WPA/WPA2-PSK(AES) WPA/WPA2-PSK(TKIP)
使用周波数帯域:	2.4GHz, 5GHz

*1 Wi-Fi®準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 4.2
送信出力	Bluetooth Specification Power Class 1
最大通信範囲:	見通し距離 約 30m *2
使用周波数帯域:	2.4GHz
変調方式:	FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル:	A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.2 AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) 1.5
対応コーデック:	SBC
伝送範囲(A2DP):	20Hz~20,000Hz

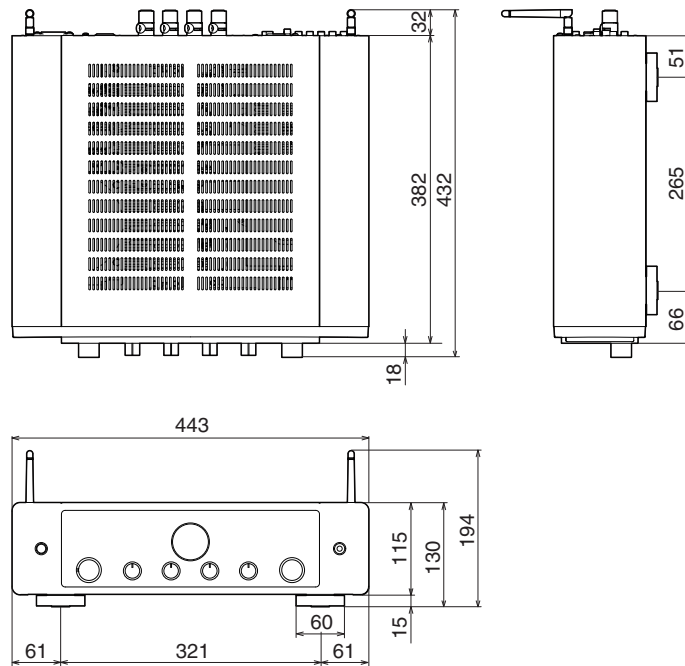
*2 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

■ 総合

動作温度:	+5℃～+35℃
電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	220W
スタンバイ時の消費電力:	0.3W
“Network Control” – “On”時の消費電力:	2W

- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 質量:16.7kg

索引

A	
AirPlay	57

B	
Bluetooth 機器	38

H	
HEOS アカウント	46
HEOS お気に入り	49

N	
NAS	55, 102

S	
Spotify	60

U	
USB メモリー	28, 55

W	
Wi-Fi の設定	72

い	
インターネットラジオ	54

お	
オートスタンバイ	70

こ	
故障かな?と思ったら	79
こんなときの解決方法	77

す	
スリープタイマー	62

せ	
設定メニュー一覧	64

て	
ディスプレイの明るさ	62

に

入力ソース 36

ね

ネットワークの設定 72

は

パソコン 29, 55, 102

ふ

フロントパネル 9

へ

ペアリング 38

む

無線 LAN の接続 30, 72

ゆ

有線 LAN 29, 72

り

リアパネル 12

リモコン 15

目次

接続のしかた

再生のしかた


設定のしかた

困ったときは

付録

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター


 0570 (666) 112 または
050 (3388) 6801


FAX : 044 (330) 1367

- 受付時間 10:00～18:00
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。
<https://marantz-jp.custhelp.com/app/answers/list>
- メールでお問い合わせをいただくこともできます。
<https://marantz-jp.custhelp.com/app/ask>

* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 0570 (666) 811

- 受付時間 9:30～12:00、13:00～17:30
(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)
- 上記番号がご利用いただけない場合  0466 (86) 9520
- 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認ください。
<https://www.marantz.jp/ja-jp/support/serviceinformation>

■ 代表修理窓口

首都圏サービスセンター

〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2010-16

FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。お持ち込みいただいても受け取ることができませんのでご了承ください。

marantz®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

Printed in Japan 5411 11948 00AM

© 2021 Sound United. All Rights Reserved.